

コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル)2011

実施報告書



CoFesta

2011

目次

【はじめに】

コ・フェスタ (JAPAN 国際コンテンツフェスティバル)	2011
実施報告書発行にあたり	2
コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) とは	3

【運営体制】

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧	4
運営組織図／ JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会／	5

【開催概要】

イベントマップ	6
コ・フェスタ 2011 参加イベント一覧	7

【コ・フェスタの「顔】】

トータルディレクション／公式テーマ曲	8
--------------------	---

【百人委員会】

百人委員会とは／百人委員会委員一覧	9
委員会ロゴマーク一覧	10

【オフィシャルイベント】

東京ゲームショウ 2011	13
日本ゲーム大賞 2011	14
KYOTO CMEX 2011	15
CEATEC JAPAN 2011	17
Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO	18
大阪創造取引所 2011	19
第 28 回 ATP 賞テレビグランプリ 2011	20
デジタルコンテンツ EXPO 2011	21
第 38 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	22
第 24 回東京国際映画祭	23
第 8 回文化庁映画週間 -Here&There-	24
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2011	25
TIFFCOM 2011 Marketplace for Film & TV in Asia	26
第 8 回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)	27
Creative Market Tokyo 2011	
-Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence	28
東京国際アニメ祭 2011 秋	29
Inter BEE 2011	30
コミック フェスティバル in 東北 ～コミック出版社 東北応援プロジェクト～	31

【パートナーイベント】

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011 (CrIS 関西 2011)	33
第 2 回国際科学映像祭	37
日本映画テレビ技術協会「映像フォーラム 2011」	38
第 33 回 PFF ぴあフィルムフェスティバル	38

吉祥寺アニメワンドラーランド 2011	39
第 6 回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO SHORT FEST 2011)	39
学生クリエーターズ・フェスタ in 新宿 2011	40
全映協フォーラム 2011 in 長野	40
LA EigaFest 2011	41
映文連国際短編映像祭「映文連アワード」 「International Corporate Film Showing 2011」	41
東京TVフォーラム 2011	42
ふくしまアニメーションプロジェクト 2011 ～アニメーションと音楽で絆を深めよう～	42
CP+ (シーピープラス) 2012	43
第 1 回町田 CON-CAN ショートフィルム・フェスティバル	43

【オリジナルイベント】

コ・フェスタ 2011 グランドセレモニー	45
こどもコ・フェスタ 映像制作・発表事業	46
こどもコ・フェスタ in 東北	47

【広報】

年間スケジュール	48
制作物	49
メディア露出状況	50

【一体感の創出】

オフィシャルイベント連携	51
公式行事等への実行委員会正副委員長の出席	52

・ 氏名は敬称略を基本とします。
 ・ 株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、
 それぞれ(株)、(社)、(財)と略すことを基本とします。

はじめに

コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) 2011 実施報告書
発行にあたり

コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) 2011
実行委員長 大谷 信義

「コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) 2011」の開催に際しましては、
多大なご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画、ファッショニ、デザインといったコンテンツ産業に関わるイベントが連携し、世界に向けてジャパンコンテンツを発信していくフェスティバルです。2007年に開催され今年で5年目を迎えるこのフェスティバルは、18のオフィシャルイベント、14のパートナーイベント、実行委員会が主催するオリジナルイベントからなる多種多様なコンテンツフェスティバルとして、昨年を超える方々にご来場いただきました。

5年目を迎えたコ・フェスタは、オフィシャルイベントの連携や共催、オフィシャルイベントの開催エリアの拡大や海外で開催されるパートナーイベントの参加などにより日本のコンテンツ情報がより多くのエリアに発信され、コンテンツ産業の振興や地域活性化といった成果を上げることができました。また、東日本大震災の被災地と向き合う取り組みも実施致しました。建設的なご提案、率直なご意見、温かい激励のお言葉をお寄せくださいました関係各位に心より感謝申し上げます。

コ・フェスタ 2011 の実施報告書がここにまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。今年の成果を踏まえ、この5年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感を一段と高めるべく、次の諸準備を進めて参りたいと考えております。

コ・フェスタ 2011 にご参加いただいたオフィシャルイベントとパートナーイベントの主催者・後援者、及び関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

はじめに

コ・フェスタとは？

コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）とは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバルです。

名 称：コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）2011

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

開催場所：日本各地

2011年総来場者数：約230万人

【コ・フェスタ開催の目的】

- 日本の各分野におけるコンテンツを相互に連携させて世界に向けて発信し、世界中のコンテンツ関係者が日本の数多くのコンテンツに触れる機会を提供する。
- 世界のコンテンツやコンテンツ関係者の新たな交流の場とし、国際共同製作や国際ビジネスの交流に結び付ける。

創始して5年目を迎えたコ・フェスタは、国際市場への進出とコンテンツ人材育成を促進するというコンテンツ産業の基本的活動を推進した。

各コンテンツがさらに堅実な市場確保を重ねてきている中で、日本の知的財産の価値を世界に示している。

ゲームの新しい機能を使ったコンテンツの開発、アニメの多種多様な出版および他メディアへの展開、キャラクターの世界的人気の継続、日本デザイン、ファッションの世界をリードする人気、ロボットの先駆的開発を考えると、日本のコンテンツ産業は、すでにグローバルな水準を超えていっているといえる。IT産業の成長に伴う、新しい連携のビジネスモデル、ニューアジアを重視する競争力のあるビジネスモデルも近未来の課題である。

東日本大震災の被災地にもコンテンツを通して未来への新しい期待を感じもらう機会を提供した。こどもの夢がさらに育つようなコンテンツとの出会いを生むようコ・フェスタを実行してきた。

コンテンツ業界がコ・フェスタを契機にさらに連携し、日本の本格的創造産業として活性化していくことに、このコ・フェスタの重要な意義があると考える。

エグゼクティブ・プロデューサー 重延 浩





運営体制 JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧

2012年3月7日現在（敬称略）

【委員長】

大谷 信義	一般社団法人 日本映画製作者連盟 会長 (松竹株式会社 代表取締役会長)
-------	---

【副委員長】

依田 翼	第24回東京国際映画祭 チェアマン 社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長
迫本 淳一	松竹株式会社 代表取締役社長
松谷 孝征	特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長 一般社団法人 日本動画協会 上席理事 (株式会社 手塚プロダクション 代表取締役社長)

【副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー】

重延 浩	株式会社 テレビマンユニオン 代表取締役会長・CEO
------	----------------------------

【委員】

井上伸一郎	株式会社 角川書店 代表取締役社長
岡田 裕介	東映株式会社 代表取締役社長
角川 歴彦	株式会社 角川グループホールディングス 取締役会長
北川 直樹	一般社団法人 日本レコード協会 会長 (株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役 コーポレイト・エグゼクティブCEO)
神保 憲二	独立行政法人 国際観光振興機構 理事 事業本部担当
鷺見 良彦	財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事
野間 省伸	株式会社 講談社 代表取締役社長
広瀬 道貞	社団法人 日本民間放送連盟 会長 (株式会社 テレビ朝日 顧問)
松岡 功	一般社団法人 映画産業団体連合会 会長 (東宝株式会社 名誉会長)
松本 正之	日本放送協会 会長
三宅 正彦	一般社団法人 日本ファッショナリィーク推進機構 理事長 (株式会社 TSIホールディングス 代表取締役会長)
矢内 廣	ぴあ株式会社 代表取締役社長
横尾 英博	独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）副理事長
和崎 信哉	社団法人 衛星放送協会 会長 (株式会社 WOWOW 代表取締役社長)
和田 洋一	一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長 (株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長)

（以上、50音順）

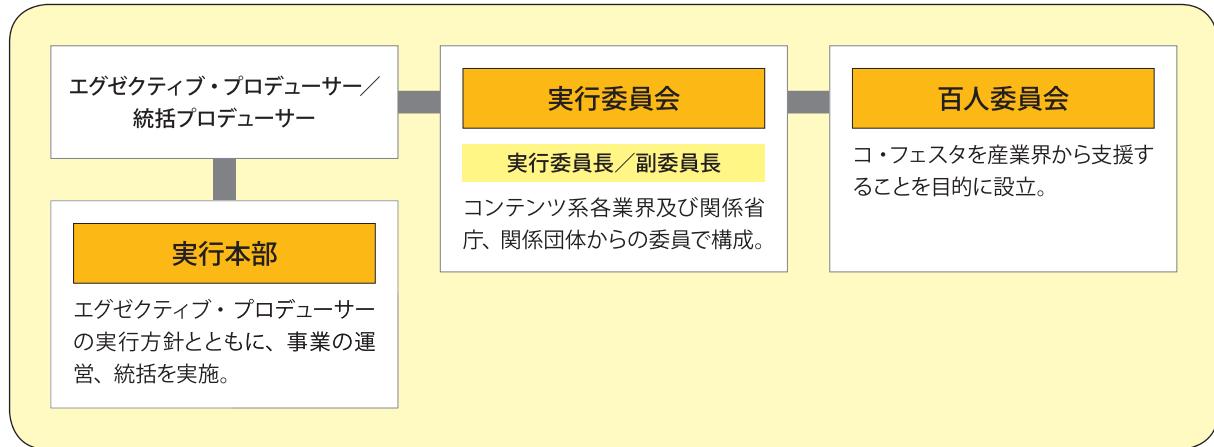
上田 英志	内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長
阪本 泰男	総務省 大臣官房審議官（情報流通行政局担当）
村田 直樹	外務省 広報文化交流部長
大木 高仁	文化庁 文化部長
今林 顯一	経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）
山田 尚義	観光庁 審議官
横山 英樹	東京都産業労働局観光部長

【監事】

工藤 英博	社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 顧問 (映画専門大学院大学 学長)
森澤 克彦	社団法人 日本映画テレビ技術協会 専務理事

運営体制 運営組織図／JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

■運営組織図



■ JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

コ・フェスタの最高意志決定機関として、エグゼクティブ・プロデューサー等から上申された事項を審議、決議するとともに、コ・フェスタ独自のイベントの実施及び広報活動並びに各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

●第1回実行委員会

日時：2011年6月6日(月) 15:30より
場所：東京會館 11F シルバーレーム

【審議事項】

- 第1号議案 委員長、副委員長、エグゼクティブ・プロデューサー(EP)専任の件
- 第2号議案 コ・フェスタ2011基本コンセプト承認の件
- 第3号議案 イベントカテゴリー承認の件



●第2回実行委員会

日時：2011年8月16日(火) 13:30より
場所：銀座東武ホテル 3F 龍田

【審議事項】

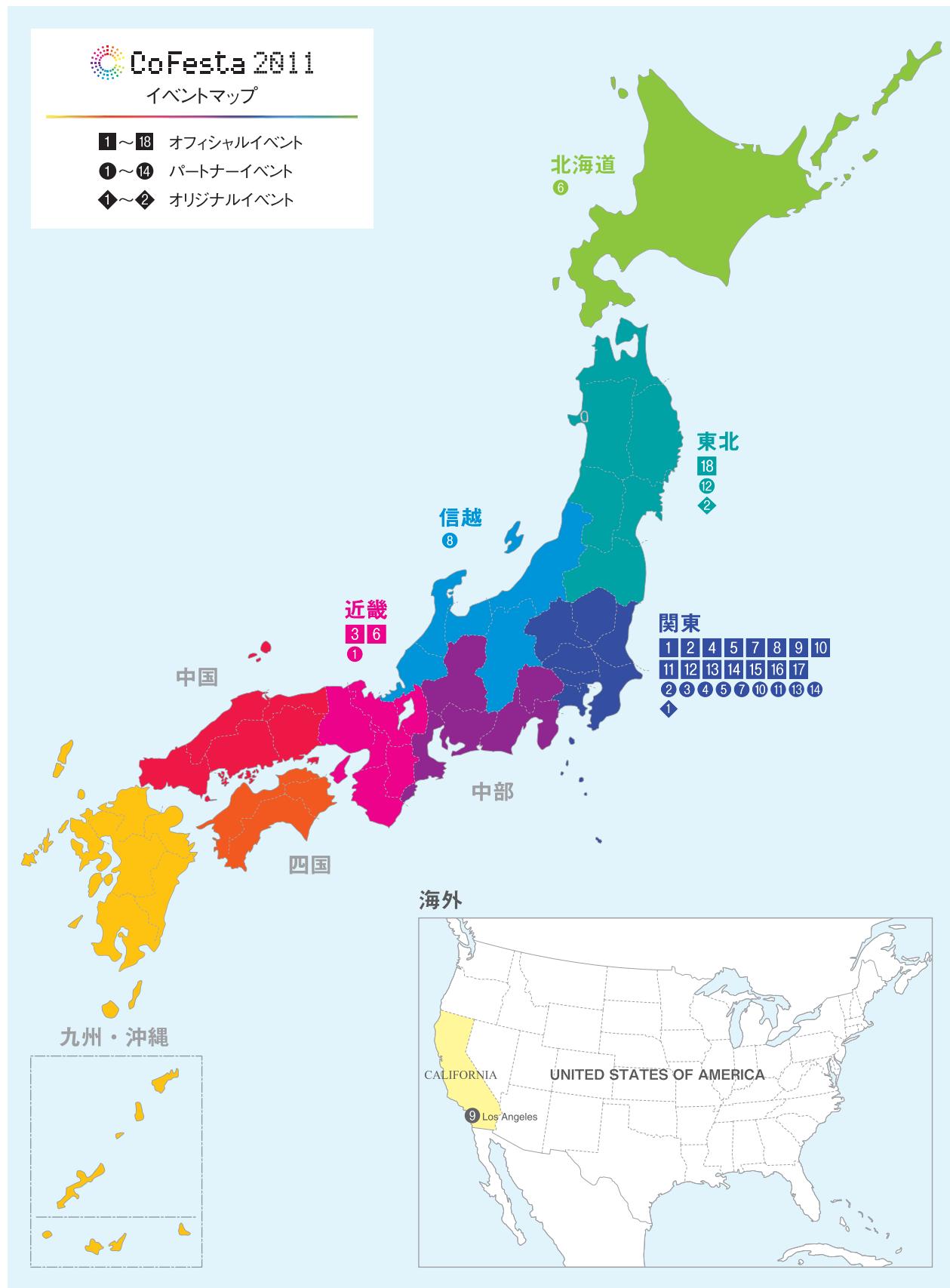
- 第1号議案 オフィシャルイベント追加承認の件
- 第2号議案 パートナーアイベント選考基準変更の件

●第3回実行委員会

日時：2012年3月7日(水) 10:30より
場所：東京會館 11F シルバーレーム

CoFesta 2011

開催概要 イベントマップ



開催概要 コ・フェスタ 2011 参加イベント一覧

オフィシャルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	東京ゲームショウ 2011	2011年9月15日(木)～2011年9月18日(日)	幕張メッセ
2	日本ゲーム大賞 2011	2011年9月15日(木)～2011年9月18日(日)	幕張メッセ
3	KYOTO CMEX 2011	2011年10月1日(土)～2011年11月27日(日)	京都国際漫画ミュージアム／東映京都撮影所他
4	CEATEC JAPAN 2011	2011年10月4日(火)～2011年10月8日(土)	幕張メッセ
5	Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO	2011年10月16日(日)～2011年10月22日(土)	東京ミッドタウン／メルセデス・ベンツコネクション他
6	大阪創造取引所 2011	2011年10月18日(火)～2011年10月19日(水)	堂島リバーフォーラム
7	第28回 ATP 賞テレビグランプリ 2011	2011年10月20日(木)	六本木ヒルズ 六本木ハリウッドホール
8	デジタルコンテンツ EXPO 2011	2011年10月20日(木)～2011年10月22日(土)	日本科学未来館
9	第38回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	2011年10月20日(木)～2011年10月27日(木)	NHK放送センター
10	第24回東京国際映画祭	2011年10月22日(土)～2011年10月30日(日)	六本木ヒルズ他
11	第8回文化庁映画週間 -Here&There-	2011年10月22日(土)～2011年10月29日(土)	六本木ヒルズ／シネマート六本木
12	国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2011	2011年10月24日(月)～2011年10月25日(火)	六本木ヒルズ
13	TIFFCOM 2011 Marketplace for Film & TV in Asia	2011年10月24日(月)～2011年10月26日(水)	六本木ヒルズ森タワー 40F&49F
14	第8回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)	2011年10月24日(月)～2011年10月27日(木)	品川プリンスホテル／ステラボール
15	Creative Market Tokyo 2011 -Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence	2011年10月26日(水)～2011年10月28日(金)	六本木ヒルズ森タワー 40F
16	東京国際アニメ祭 2011 秋	2011年10月27日(木)～2011年10月28日(金)	秋葉原UDX AKIBA_SQUARE
17	Inter BEE 2011	2011年11月16日(水)～2011年11月18日(金)	幕張メッセ
18	コミック フェスティバル in 東北 ～コミック出版社 東北応援プロジェクト～	2011年11月下旬	仙台国際センター／AERアトリウム(仙台駅前)他

パートナーイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011 (CrIS 関西 2011)	2011年7月28日(木)～2011年12月27日(火)	関西各地域 (大阪／兵庫／京都／奈良／滋賀／和歌山／福井)
2	第2回国際科学映像祭	2011年8月10日(水)～2011年10月2日(日)	科学技術館／府中市郷土の森博物館他
3	映像フォーラム 2011	2011年9月8日(木)～2011年9月9日(金)	スペースFS汐留
4	第33回PFF	2011年9月20日(火)～2011年9月30日(金)	東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール他
5	吉祥寺アニメワーランド 2011	2011年10月1日(土)～2011年10月10日(月)	井の頭駅周辺(井の頭公園ステージ、武蔵野商工会館、吉祥寺シアター他)
6	第6回札幌国際短編映画祭	2011年10月5日(水)～2011年10月10日(月)	札幌東宝プラザ／シアターキノ／イベントスペースEDIT
7	学生クリエーターズ・フェスティバル in 新宿 2011	2011年10月15日(土)～2011年10月23日(日)	新宿駅東口モア4番街／歌舞伎町セントラルロード他
8	全映協フォーラム 2011 in 長野	2011年11月1日(火)	JA長野県ビル アクティーホール
9	LA EigaFest 2011	2011年11月11日(金)～2011年11月13日(日)	チャイニーズシアター(ロサンゼルス)
10	映文連 国際短編映画祭「映文連アワード」 [International Corporate Film Showing 2011]	2011年11月29日(火)～2011年12月2日(金)	時事通信ホール／富士フィルム西麻布本社ホール
11	東京TVフォーラム	2011年12月12日(月)～2011年12月14日(水)	都市センターホテル
12	ふくしまアニメーションプロジェクト2011 ～アニメーションと音楽で絆を深めよう～	2012年1月14日(土)	福島県郡山市公会堂
13	CP+(シーピープラス) 2012	2012年2月9日(木)～2012年2月12日(日)	パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール
14	第1回町田CON-CANショートフィルム・フェスティバル	2012年2月11日(土)～2012年2月12日(日)	町田市民フォーラム他

オリジナルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	コ・フェスタ 2011 グランドセレモニー	2011年9月13日(火)	東京会館ローズルーム
	こどもコ・フェスタ	2011年10月20日(木)～2012年3月31日(土)	ウェブサイト他
2	こどもコ・フェスタ in 東北	2012年3月24日(土)	宮城県七ヶ浜町七ヶ浜国際村

コ・フェスタの「顔」 トータルディレクション／公式テーマ曲



佐藤可士和

■トータルディレクション

CoFestaシンボルマークの制作をはじめ、トータルでのアートディレクションを佐藤可士和氏が手がけた。いまやトップクリエーターとして活躍する彼が、コ・フェスタのアートディレクションのテーマとして選んだのが「Multi Contents Link」。

「Multi Contents Link」



あらゆるコンテンツが相互に連携、影響し合いながらリンクして、新たな可能性を創造していく様をContentsの頭文字Cをモチーフにシンボライズ。日本からグローバルに発信する新しいプロジェクトのイメージを斬新且つインパクトをもって表現した。

カラーリングの考え方はマルチカラーグラデーションを基本とし、多彩な色相のグラデーションで展開することにより、様々な人、情報、メディアが集まり、交流しながら広がるコミュニケーションの輪の楽しさを象徴している。



久石譲

■公式テーマ曲

公式テーマ曲「Links」は2007年に官民連携プロジェクトとしてコ・フェスタの開催が決定され、JAPANコンテンツの祭典にふさわしいテーマ曲をという願いから、現代日本を代表する作曲家久石譲氏に作曲を依頼。同年のコ・フェスタオープニング・セレモニーにて初披露された。久石氏指揮による100人編成の東京フィルハーモニー交響楽団による「Links」のパフォーマンスは、様々なコンテンツの頭文字であるCマークを中心に、集散拡散しながら相互に連携リンクする様を圧倒的な演奏力にて見事に表現された作品となった。

百人委員会 百人委員会とは／百人委員会委員一覧

■百人委員会とは

名 称：JAPAN国際コンテンツフェスティバル百人委員会(通称：百人委員会)

設立主旨：コ・フェスタを産業界から支援することを目的とする。

2011年度活動内容：百人委員会結団式（グランドセレモニー）の開催、グランドセレモニー会場にて委員一覧・企業ロゴマーク一覧パネル掲載、グランドセレモニーへの参加、コ・フェスタ公式ガイドおよびウェブサイトへの委員一覧掲載協力。

■委員一覧

【委員長】

原 良也 (株)大和証券グループ本社 最高顧問
 伊藤 源嗣 (株)IHI 相談役
 篠田 芳彦 (株)アサツー ディ・ケイ コンテンツ本部 本部長
 秋山耿太郎 朝日新聞社 代表取締役社長
 荻田 伍 アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役会長 兼 CEO
 小林 栄三 伊藤忠商事(株) 代表取締役会長
 龜井 淳 (株)イトーヨーカ堂 代表取締役社長
 長瀬文男 (株)イマジカ・ロボットホールディングス 代表取締役会長 グループCEO
 菅田 史朗 ウシオ電機(株) 代表取締役社長
 佐藤 寿美 (株)NHKエンターブラインズ 代表取締役社長
 篠田 和久 王子製紙(株) 代表取締役社長
 篠塚 勝正 沖電気工業(株) 相談役
 井上伸一郎 (株)角川書店 代表取締役社長
 辻本 憲三 (株)カブコン 代表取締役会長
 福井 澄郎 関西テレビ放送(株) 代表取締役社長
 木下直哉 木下グループ 代表取締役
 依田 異 ギャガ(株) 代表取締役会長 兼 社長CEO
 御手洗富士夫 キヤノン(株) 代表取締役会長 兼 CEO
 村瀬治男 キヤノンマーケティングジャパン(株) 代表取締役会長
 加藤 壱康 キリンホールディングス(株) 取締役会長
 小池 武久 キングレコード(株) 取締役会長
 柿原 康晴 (株)コーエーテクモゲームス 代表取締役会長
 松浦 規之 コダック(株) 代表取締役社長
 田中富美明 (株)コナミデジタルエンタテインメント 代表取締役社長
 坂根正弘 (株)小松製作所 取締役会長
 柄澤哲夫 (株)コンゾー 執行役員社長 兼 CEO
 熊坂隆光 (株)産業経済新聞社 代表取締役社長
 渡文 明 JXホールディングス(株) 相談役
 折井栄二 ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
 ローカルエイジションズ＆プロダクション本部長
 町田勝彦 シャープ(株) 代表取締役会長
 迫本淳一 松竹(株) 代表取締役社長
 市川秀夫 昭和電工(株) 代表取締役社長
 高田真治 スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長
 和田洋一 (株)スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長
 米倉弘昌 住友商事(株) 代表取締役会長
 岡素之 (株)第一通信社 代表取締役会長
 花岡清二 セイコーエプソン(株) 取締役会長
 大橋洋治 全日本空輸(株) 取締役会長
 土橋昭夫 双日(株) 代表取締役会長
 中鉢良治 ソニー(株) 取締役 代表執行役 副会長
 毛塚善文 ソニー・PCL(株) 代表取締役 社長
 北川直樹 (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
 代表取締役コーポレート・エグゼクティブCEO
 大塚徹哉 (株)第一通信社 代表取締役社長
 山内隆司 大成建設(株) 代表取締役社長
 北島義俊 大日本印刷(株) 代表取締役社長
 鈴木茂晴 (株)大和証券グループ本社 取締役会長
 佐藤慶太 (株)タカラトミー 取締役副社長
 徳光彰二 中京テレビ放送(株) 代表取締役社長
 大石幼一 中部日本放送(株) 代表取締役社長
 石橋誠一 (株)ティチクエンタテインメント 代表取締役社長
 吉田博昭 (株)ティー・ワイ・オー 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者
 杉山知之 デジタルハリウッド(株) デジタルハリウッド大学学長
 小谷勝 テレビ愛知(株) 代表取締役社長
 君和田正夫 (株)テレビ朝日 取締役会長
 上田克己 テレビ大阪(株) 代表取締役会長
 菅谷定彦 (株)テレビ東京 取締役相談役

2011年12月31日現在 百人委員会就任企業112社
 侯木盾夫 (株)電通 相談役
 岡田裕介 東映(株) 代表取締役社長
 高橋浩 東映アニメーション(株) 代表取締役社長
 浅野穎也 東海テレビ放送(株) 代表取締役社長
 鳥原光憲 東京ガス(株) 取締役会長
 城所賢一郎 (株)TBSテレビ 取締役相談役
 西室泰三 (株)東芝 相談役
 島谷能成 東宝(株) 代表取締役社長
 林田洋 (株)東北新社 取締役会長
 藤田弘道 凸版印刷(株) 相談役
 小宮秀之 (株)トーハン 取締役 海外事業部門担当
 張富士夫 トヨタ自動車(株) 取締役会長
 荒木高伸 名古屋テレビ放送(株) 代表取締役社長
 佐藤直樹 日活(株) 代表取締役社長
 重久吉弘 日揮(株) 日揮グループ代表 相談役
 長田公平 (株)日経BP 代表取締役社長
 丹羽信一 (株)日本経済広告社 代表取締役社長
 杉田亮毅 (株)日本経済新聞社 取締役会長
 大西賢 日本航空(株) 代表取締役社長
 田附章雄 日本コロムビア(株) 執行役員
 岡村正 日本商工会議所 会頭
 大久保好男 日本テレビ放送網(株) 代表取締役 社長執行役員
 矢野薰 日本電気(株) 代表取締役会長
 氏家純一 野村ホールディングス(株) 常任顧問
 成田純治 (株)博報堂 代表取締役会長
 大森壽郎 (株)博報堂DYメディアパートナーズ 代表取締役社長
 德市慎治 (株)バッヅ 最高顧問
 中村邦夫 バナソニック(株) 代表取締役会長
 石川祝男 (株)バンダイナムコホールディングス 代表取締役社長
 矢内廣 びあ(株) 代表取締役社長
 深澤祐二 東日本旅客鉄道(株) 常務取締役
 古川一夫 (株)日立製作所 特別顧問
 林瑞峰 (株)ヒューマックスシネマ 代表取締役社長
 後藤由多加 (株)フォーライフミュージックエンタテインメント 代表取締役社長
 秋草直之 富士通(株) 相談役
 豊田皓 (株)フジテレビジョン 代表取締役社長
 加藤丈夫 富士電機(株) 特別顧問
 古森重隆 富士フイルム(株) 代表取締役社長・CEO
 大島康広 (株)プラザクリエイト 代表取締役社長
 桐畠敏春 (株)ボニーキャニオン 代表取締役社長
 菅井敦 (株)ホリプロ 取締役
 朝比奈豊 (株)毎日新聞社 代表取締役社長
 河内一友 (株)毎日放送 代表取締役社長
 斎藤宏 (株)みずほコーポレート銀行 名誉顧問
 岩沙弘道 三井不動産(株) 代表取締役社長
 野間口有 三菱電機(株) 名誉相談役
 舛柳信雄 (株)三菱東京UFJ銀行 取締役会長
 辻慎吾 森ビル(株) 代表取締役社長
 高原慶一朗 ユニ・チャーム(株) 取締役ファウンダー
 小池一彦 ユニバーサル ミュージック合同会社 CEO 兼 社長
 吉野伊佐男 吉本興業(株) 代表取締役会長
 白石興二郎 (株)読売新聞グループ本社 代表取締役社長
 望月規夫 讀賣テレビ放送(株) 代表取締役社長
 白石弘幸 琉球放送(株) 代表取締役社長
 石坂敬一 (株)ワーナーミュージック・ジャパン 代表取締役会長 兼 CEO
 和崎信哉 (株)WOWOW 代表取締役社長
 塚本能交 (株)ワコールホールディングス 代表取締役社長



CoFesta2011 Official Events

コ・フェスタ オフィシャルイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベント。

東京ゲームショウ 2011

日本ゲーム大賞 2011

KYOTO CMEX 2011

CEATEC JAPAN 2011

Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO

大阪創造取引所 2011

第28回 ATP賞テレビグランプリ 2011

デジタルコンテンツ EXPO 2011

第38回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

第24回東京国際映画祭

第8回文化庁映画週間 -Here&There-

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2011

TIFFCOM 2011 Marketplace for Film & TV in Asia

第8回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)

Creative Market Tokyo 2011
-Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence

東京国際アニメ祭 2011 秋

Inter BEE 2011

コミック フェスティバル in 東北
～コミック出版社 東北応援プロジェクト～

オフィシャルイベント TOKYO GAME SHOW 2011

名 称：東京ゲームショウ 2011
 会 期：2011年9月15日(木)～9月18日(日)
 会 場：幕張メッセ
 主 催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
 共 催：日経BP社
 後 援：経済産業省
 対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
 来場者数：222,668人

■内容

昨年に引き続き「アジア No.1 の情報網羅性」と「世界最大規模のエンターテインメントショウ」を目指し、アジアを中心とした世界各国への情報発信を強化した。会期中は、新しい携帯型ゲーム機などの発表、発売にあわせた新作タイトルの展示があつたことに加え、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)上のソーシャルゲームやサービスなどの展示も数多く見られ、幅広いジャンルのゲームや製品が集まつたことで、様々なユーザー層が来場。その結果、過去最多の22万人を超える来場者数につながった。

また、BtoBにおいては、国内外のビジネスパーソンを対象に、さまざまなビジネスチャンス創出を支援するためのコーナーを設置。日本貿易振興機構(JETRO)、イマジカデジタルスケープ、ビジネスワイア・ジャパンの協力により、海外ゲーム関連企業と国内企業のマッチングからキャリアアップのための相談、人材登録、海外向け広報活動などについて幅広く対応した。

特に、JETROとの連携は昨年よりも強くなり、海外から招聘したバイヤー(北米地域)6社10名と、国内ゲーム企業との商談をビジネスデイ2日間に渡り実施したほか、JETRO主導の海外進出セミナーを共同開催するなど、海外のビジネスパーソンを積極的に誘引した。以上の活動を通じて、国際的なビジネスチャンス創出に大きく貢献した。

さらに本年は、「ゲームで日本を元気に」というスローガンを掲げ、チャリティーオークションや募金活動などの東日本大震災復興支援活動を実施。集まつた義援金2,216,190円は、被害の大きかつた岩手県、宮城県、福島県の自治体に寄付した。

●規模

出展社数：193社(国内131社、海外62社)
 展示小間数：1,250小間(国内1179小間、海外71小間)
 プレス来場者数：37カ国 1,041人
 出展タイトル：736タイトル(事前登録数)

●出展コーナー

一般展示／海外パビリオン／ゲームデバイス／ゲームPC & ネットワークゲーム／モバイル＆ソーシャルゲーム／ビジネスソリューション／ゲームスクール／物販／クラウド・データセンターパビリオン／ビジネスミーティング／ファミリー

●アジア・ゲーム・ビジネス・サミット

テーマ：「デジタルエンターテインメント、主戦場は手のひらの中に！」

参加企業／登壇社

【中国】盛大遊戲(シャンダ・ゲームズ)	副総裁 錢 東海 氏
【韓国】NEXON MOBILE Corporation	社長 林 宋均 氏
【台湾】XPEC Entertainment	代表取締役会長 許 金龍 氏
【日本】(株)カプコン	代表取締役社長 COO 辻本春弘 氏
(株)セガ	常務取締役海外リージョン統括本部部長 鶴見尚也 氏

●主催者企画

- ①国際ビジネス相談コーナー
- ②Gaming PC WORLD
- ③ゲーム歴史博物館
- ④3Dテレビ・3D液晶モニタ一体験コーナー
- ⑤SENSE OF WONDER NIGHT 2011
- ⑥「闘劇 2011」in TGS
- ⑦Cosplay Collection Night @TGS

●「ゲームで日本を元気にブース」(東日本大震災復興支援企画)

「ゲームで日本を元気に」ブースでは、多摩美術大学の協力を得て、来場者が「東京ゲームショウ」で感じたこと、思ったことを自由に表現する「かえり道のアートスペース」を実施。震災後あらためて感じた人と人とのつながりやエンターテインメントの大切さを共有する事を目的として本コーナーでなく、来場者やクリエイターから日本、被災地、ゲーム業界に対する様々なメッセージが集まり、4日間で約2,000枚のカードが展示された。メッセージは、公式HP(<http://tgs.cesa.or.jp>)にて公開中。



CoFesta 2011

オフィシャルイベント



名 称：日本ゲーム大賞 2011
会 期：2011年9月15日(木)～9月18日(日)
会 場：幕張メッセ「東京ゲームショウ2011」イベントステージ
主 催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
後 援：経済産業省
対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
来場者数：2,400人

■内容

東京ゲームショウ2011会期中3日間に亘り開催された「日本ゲーム大賞2011発表授賞式」は、日本を代表するトップクリエイターが一堂に介し、業界関係者、一般来場者など多くの出席者ののもと盛大に執り行われた。

●「経済産業大臣賞」(発表授賞式：9月15日(木) 16:00～16:20)

日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与された人物ならびに制作チーム等の団体に贈られる賞。本年は、「ポケットモンスター」シリーズの“育ての親”である(株)ポケモンの石原恒和氏が受賞。

<受賞理由>

ポケットモンスターを世代、国境を問わず世界中の人々から愛される多様なコンテンツに昇華させ、巨大なマーケットを確立。また、一人で遊ぶゲームから友達や世界と繋がるゲームへと新たなゲームの遊び方を提示し、「ポケットモンスター」の魅力を最大限に引き出すプロデュース力とブランドマネージメントによるビジネスモデルで、ゲームの可能性を大きく広げた点を評価されての受賞となった。

●年間作品部門(発表授賞式：9月15日(木) 16:20～18:10)

対象作品：2010年4月1日から2011年3月31日までの間、日本国内でリリースされた作品。年間を代表するにふさわしい最も優れた作品に贈られる「大賞」には、(株)カプコンの「MONSTER HUNTER PORTABLE 3rd」が選出された。

●「アマチュア部門」(発表授賞式：9月17日(土) 10:30～11:30)

対象作品：アマチュアの方が制作したオリジナルの未製品化作品。

応募総数194作品の中から、業界詩編集者、クリエイターによる審査を経て、佳作6作品、優秀賞5作品の合計11作品が受賞作品として選出された。優秀賞5作品の中から、学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校の「CONECT」が最も優れた作品として「大賞」を受賞した。

●「フューチャー部門」(発表授賞式：9月18日(日) 12:00～13:30)

対象作品：「東京ゲームショウ2011」に出展、発表された未発売作品。

「東京ゲームショウ2011」会期中に来場者投票を実施。その後、日本ゲーム大賞選考委員による審査を経て、今後が期待される作品として、11作品が選出された。なお、本年は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)上のゲームの中から、フューチャー部門の「将来性の評価」という要素を十分に満たすものとして、会期中来場者から最も注目を集めた(株)コナミデジタルエンタテインメントの「ドラゴンコレクション」に「特別賞」が授与された。

●「ゲームデザイナーズ大賞」(発表授賞式：9月15日(木) 16:45～17:00)

対象作品：2010年4月1日から2011年3月31日までの間、日本国内でリリースされた作品。第2回目となる本賞の受賞作品には、「ヒラメキパズルマックスウェルの不思議なノート」(5TH Cell Mesia,LLC./^(株)コナミデジタルエンタテインメント)が選出された。

【概要】

クリエイターが作り手の視点から高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として昨年より設けられた賞。桜井政博氏を審査員長に同賞の趣旨に賛同頂いた日本を代表する12名のクリエイターによる審査員によって受賞作品を決定。



オフィシャルイベント KYOTO CMEX 2011

名 称：KYOTO CMEX 2011(KYOTO Cross Media Experience 2011)
 会 期：2011年10月1日(土)～11月27日(日)
 会 場：京都国際マンガミュージアム／東映京都撮影所／松竹撮影所／
 京都商工会議所／知恩院和順会館 他
 主 催：KYOTO Cross Media Experience実行委員会
 委員長：齋藤 茂(京都商工会議所常議員、京都ブランド推進特別委員会
 委員長)／(株)トーセ代表取締役社長
 対 象：国内外のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す
 大学生、コンテンツに関心のある方など
 来場者数：77,179人

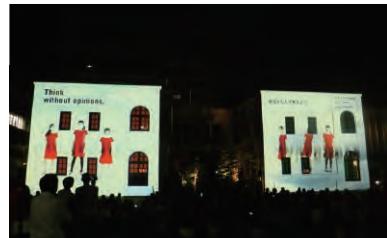
■内容

●CGアニメコンテスト・CGアニカップ

日時：10月1日(土)、2日(日)
 会場：京都コンピュータ学院 京都駅前校
 概要：コンテンツ業界において伸張著しい分野であるCGアニメの人材育成を目的として実施されたコンテストの入選作品の上映と表彰を実施。またコンテストから選抜された作品とフランスの映像フェスティバル「e-magiciens」から選抜された5作品を交互に上映し、審査員と一般来場者の勝敗判定による国際親善試合「CGアニカップ」も開催した。



CG アニメコンテスト・CG アニカップ



マチデコ・インターナショナル

●マチデコ・インターナショナル～街を映像でデコレートするプロジェクト～

日時：10月1日(土)
 会場：京都国際マンガミュージアム
 概要：京都国際マンガミュージアムの壁面を生かし、国内の著名アーティストやフランスのアーティスト等による映像作品を照射する上映会を、同日開催の京都市・関西日仏学館主催の「ニュイ・ブランシュKYOTO～パリ白夜祭への架け橋～現代アートと過ごす夜」事業の一環として開催した。



京都太秦シネマフェスティバル

●京都太秦シネマフェスティバル

日時：10月1日(土)～11月27日(日)
 会場：太秦地域一帯
 概要：戦国をテーマにしたシンポジウムやコスプレイベント、映画制作を体験する子どもワークショップ、シネマウォークと殺陣体験など、映画のまち“京都・太秦”的魅力を発信するイベントを開催した。



コンテンツビジネスセミナー

●コンテンツビジネスセミナー

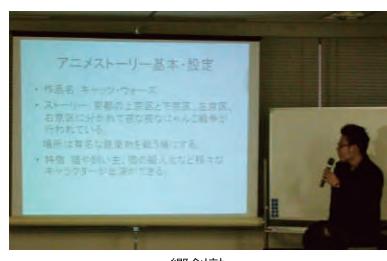
日時：10月4日(火)、10月11日(火)、10月20日(木)
 会場：京都商工会議所
 概要：新しいコンテンツビジネスを展望すると同時に、コンテンツ業界間並びに異業種の人材交流を通じて新たなクリエイティブ産業を創出するためのコミュニケーションやコミュニティ形成を図るとともに、京都のみならず関西、東京から関係者が集まりコンテンツビジネスの可能性や未来像を展望する機会を創出することを目的として実施。



マンガミュージアムイベント

●マンガミュージアムイベント

日時：10月15日(土)～11月27日(日)
 会場：京都国際マンガミュージアム
 概要：特別展「赤塚不二夫マンガ大学展」をはじめ、学生作品を一同に集めた学生のためのアニメーションフェスティバル「インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル (ICAF)」の開催、養老孟司マンガミュージアム館長の特別講演など、マンガ・アニメの魅力を総合的に発信するイベントを開催した。



響創塾

●響創塾(きょうそうじゅく)～マンガ・アニメ等クリエイター育成塾～

日時：10月16日(日)、10月23日(日)、10月29日(土)、11月6日(日)、
 11月13日(日)、11月20日(日)
 会場：京都高度技術研究所など
 概要：マンガ・アニメのクリエイター、プロデューサーを目指す社会人または学生等を対象に、海外マーケットを含め、クロスマディアビジネスで成功している国内外のクリエイターやプロデューサーを招き、人材育成講座を6回に分け、実施。

オフィシャルイベント

KYOTO CMEX 2011



●クロスメディアカンファレンス

日時：11月1日(火)
会場：知恩院 和順会館

概要：次代のクリエーターの育成や、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を広く国内外に情報発信することを目的に、コンテンツのクロスメディア展開や、ICTを活用した新しいコンテンツビジネスに関するカンファレンスを開催した。

●レセプション

日時：11月1日(火)
会場：知恩院 和順会館

概要：KYOTO CMEX 事業を国内外に発信するとともに、コンテンツ産業に携わるトップランナーや若手クリエイター等の分野横断的な人材交流とネットワーク形成を目的に開催した。

特別ゲスト：平野綾(声優)アトラクションとしてミニライブを実施



●HISTORICA(ヒストリカ)

日時：11月19日(土)～27日(日)
会場：松竹撮影所、東映京都撮影所、京都文化博物館

概要：映画・映像制作の拠点である太秦の撮影所において、歴史をテーマにした国際映画祭を開催。国内外の歴史映画を上映するとともに、映画製作関係者を対象としたセミナーを開催するなど、クロスメディア展開の手法や国際事業展開の可能性を探った。

●京都映画若手才能育成ラボ

日時：HISTORICA開催期間中
会場：松竹撮影所、東映京都撮影所、東映太秦映画村、京都文化博物館

概要：本編映画と同じ施設・道具を使用して、本格的な時代劇を制作体験するワークショップにおいて、約40か国100人の中から選抜された国内外の若手映画制作者が、短編時代劇映画を制作した。



●京都マンガガールズコレクション プレイイベント

日時：11月26日(土)
会場：京都国際マンガミュージアム

概要：少女マンガで描かれてきたファッショニズムに焦点を当て、マンガファッショニズムに現代のデザインを取り入れた衣服の創作及び商品開発を行い、そのファッショニズム(京都マンガガールズコレクション)開催に向けたプレイベントとして、嶽本野ばら氏を招き、講演会を開催した。

●京都太秦ゲームフェスタ

日時：11月26日(土)
会場：東映京都撮影所、東映太秦映画村

概要：ゲームソフトが体験できるブース展示やステージイベント、ゲームコンテンツのトレンドに関するパネルディスカッションなど、多彩なイベントに関西を中心としたゲームメーカーや学生などが参加した。



●京都映画・映像企画市

日時：11月27日(日)
会場：松竹撮影所

概要：若手映画・映像関係者を対象にした公募企画38件の中から選ばれた9企画が披露され、業界の第一線で活躍する評価者から商業化に向けたアドバイスなどを受けた。今後選定された2企画については、パイロット版の制作を支援する。

■パートナーイベント

○第26回国民文化祭・京都2011 京都映像フェスティバル・マンガアートフェスティバル

○天橋立コスプレイベント

「2011年 amanohashidate GO-TAN サイゴの sea paradise」



オフィシャルイベント

名 称：最先端IT・エレクトロニクス総合展 CEATEC JAPAN 2011

会 期：2011年10月4日(火)～10月8日(土)

会 場：幕張メッセ

主 催：CEATEC JAPAN 実施協議会

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)

(社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

後 援：総務省／外務省／経済産業省(建制順)

千葉県／千葉市／日本放送協会／(社)日本民間放送連盟／

(社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／

千葉商工会議所／(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)／

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構／

(独)国際観光振興機構(日本政府観光局)／アメリカ合衆国大使館商務部／

駐日欧州連合代表部／英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館／

フランス大使館企業振興部—ユビフランス(順不同)

対 象：IT・エレクトロニクス業界関係者、及び一般ユーザ

来場者数：172,137人

■内容

12回目を迎えたCEATEC JAPAN 2011は、586社・団体が出展し、IT・エレクトロニクス産業が震災後の日本の復興にどのように貢献できるかを提示するとともに、家、車、情報家電といった生活を取り巻くさまざまな製品、サービスがIT・エレクトロニクスによって連携することにより生み出される新たな価値を提案する展示会となつた。

今回の開催にあたっては、開催テーマ「Smart Innovation — 未来をつくる最先端技術」に加え、東日本大震災からの復興を推進するための業界一丸となった取り組みとすべく、「IT・エレクトロニクス産業の提案する安心・安全でスマートな社会」を推進スローガンに設定した他、来場者が安心して見学できるよう、出展者の協力のもと、安全対策を強化し開催に臨んだ。

もうひとつの試みとして、『CEATEC JAPAN』と『東京モーターショー』が復興支援を目的に連携し、共同メッセージを発信した。2つの展示会は、IT・エレクトロニクス産業並びに自動車産業の代表的展示会として「チーム・テクノロジー・ジャパン」を掲げ、国内外の産業界や市場に対し、日本のものづくりの逞しさを発信した。

今年の傾向で最も目立ったものは、エネルギー関係の展示がCEATEC JAPANの出展内容として確立したことであった。これまで、エネルギー関連の事業を営む企業、研究開発を行う諸機関から積極的な出展がなされていたが、今年は從来を上回る勢いが見られた。さらに「創エネルギー」と「省エネルギー」の連携を示す展示など、作る側と使う側の両輪が噛み合った展示であった。特別展示「スマートコミュニティイノベーション2011」として、自動車・エネルギーなど、IT・エレクトロニクスに関連する、幅広い業界から80社／団体が出展し、東日本大震災以降、意識の高まる省エネ・蓄エネ・創エネ関連の最先端技術が多く披露された。

コンテンツ関連の出展では、東北三県(岩手、宮城、福島)を除く全国でアナログテレビ放送が終了し、地上デジタルテレビ放送のみとなつた。次代を見据えたより魅力あるテレビ、そしてAV機器を目指した出展が今年も多数見られた。HDTVの次を狙い、3Dに加えて、高画質で解像度の高い4Kさらには8Kのディスプレイの他、様々なディスプレイ技術が登場した。タブレット端末やスマートフォン、クラウドサービスを利用した新しい技術やサービスも多数提案され、それらの新たな製品・サービスを支える部品・機器の最先端技術も多数展示された。また、IT・エレクトロニクスの進化による新たな動きの一つとして、放送と通信の融合から生まれる新たな放送サービスが提案された。

特別展示企画として「コンテンツエクスペリエンスゾーン」を超臨場感コミュニケーション産学官フォーラムの企画により開催。超臨場感技術を活用した立体映像や多視点映像および五感・多感覚コンテンツ、テレワーク技術など提案し、さまざまな最新技術や提示方法を活用した3D映像、およびそのコンテンツを中心に、今後の利用が広がる新しいメディアのユーザ体験の機会を提供した。



CoFesta 2011

オフィシャルイベント



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization

名 称：Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2012S/S
会 期：2011年10月16日(日)～22日(土)
会 場：東京ミッドタウン、メルセデス・ベンツ コネクション 他
主 催：一般社団法人日本ファッショントーキー
後 援：経済産業省／(独)中小企業基盤整備機構／(独)日本貿易振興機構／
知的財産戦略本部／外務省／国土交通省／東京都／
(社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／
(財)日本ファッショナリティ協会／
一般社団法人日本アパレル・ファッショングループ協会／
(財)ファッショングループ人材育成機構／日本百貨店協会
対象：バイヤー、プレス、その他業界関係者、一部は一般消費者向け
来場者数：50,400人

■内容

メルセデス・ベンツ ファッショントーキーは、東京ミッドタウン及びメルセデス・ベンツ コネクションを主会場として、10月16日(日)～22日(土)に開催、主催・共催・関連イベントに約5万人の来場者があり、盛況裡に終了した。今回のポイントは以下の通り。

- (1)東日本大震災後、日本を盛り上げたいと若手クリエイターも多数集結し、1年ぶりに「今の東京」を代表するコレクション・ショーが行われた。
- (2)メルセデス・ベンツ日本(株)のタイトルスポンサーのもと、来場者全体を通じ、総じて「大きく変わった」、「違和感はない」、海外メディアからは「特筆すべき数多くの進歩が見られた」との評価であった。
- (3)一般消費者向けに一部有料のコレクション・ショーや復興支援のチャリティショーが実施された。また「I Love Japan」という被災地支援をメッセージとした「Paul Smith」のコレクション・ショーがメルセデス・ベンツ日本(株)の招聘で開催された。
- (4)主会場の東京ミッドタウン及びメルセデス・ベンツ コネクションの「活気ある連携」、銀座ファッション・ウィークの「華やぎ」、渋谷ファッションフェスティバルのヤング層を中心とした「盛り上がり」、新宿、芝・汐留等、東京の随所で「ビジネス追及」の展示会、一般消費者参加の「需要喚起」イベントが行われた。
- (5)海外への発信強化のため、海外からファッショントーキーを招聘した。また、会期中の公式ウェブサイトのビューワー数は平均50,000PV／日。最終日の22日は70,000PV／日に達した。「YouTube」による17ショーアイエンスのライブストリーミング中継も行った。クリエイションの臨場感ある速報を国内外に発信することが出来た。

オフィシャルイベント



大 阪 創 造 取 引 所
OSAKA CREATIONS EXCHANGE 2011
新しいマーケットはここから生まれる！

名 称：大阪創造取引所 2011
 会 期：2011年10月18日(火)・19日(水)
 会 場：堂島リバーフォーラム
 主 催：大阪創造取引所2011実行委員会
 (近畿経済産業局／(公社)関西経済連合会／大阪府／大阪市／
 大阪商工会議所、(株)マッシュ)
 運営主体：(株)マッシュ
 プロデュース：(株)スーパーステーション
 対 象：ビジネスマン・クリエイターを中心とする幅広い一般
 来場者数：2,022人

■内容

●概要

「クリエイティブ」でビジネスチャンスを広げる展示・商談イベント。
 産業用コンテンツやメディア・コンテンツ等を、環境・医療・教育・食・デザイン・ファッション等あらゆる分野で利活用することを目指し、受発注や提携など取引のためのビジネスマッチングを行う。
 出展者によるコンテンツの展示・紹介、バイヤーズサロンでの商談、またステージでは各界の第一線で活躍する著名人・有識者による講演や公開ディスカッションなどを展開。
 出展者数：41社・団体／30ブース (特別出展) 東北復興応援 東北3県PRブース
 バイヤー企業：21社



●ステージ

<オープニング>

- ・大阪創造取引所オープニングセレモニー＆大阪創造取引所アワード授賞式

<トークプログラム>

- ・「在阪放送局による完全デジタル化を迎えたテレビの課題と未来」
 ～在阪放送局プロデューサーがテレビの夢を議論します～
- ・吉本興業～波乱万丈の100年とこれから～
- ・クリエイティブ・ジャンクション
 ～企業・社会の課題解決が新しい仕事を創造する～
- ・「くいだおれのコンテンツビジネス」
- ・「東映アニメのグローバル戦略」
- ・「プロスポーツビジネスと地域イノベーション」

<東北復興応援プログラム>

- ・「東北地方コンテンツ発信事業のご紹介」
- ・「東北ご当地コンテンツのご紹介」
- ・『project Next』～関西から映像制作で被災地を支援～

<出展者プレゼンテーションステージ>

大阪創造取引所2011の出展者による、自社ブースのPRステージ

●大阪創造取引所アワード

将来有望なクリエイティブ製品(又はクリエイター)を発掘し、国内外へ発信する事を目的として、大阪創造取引所2011の出展コンテンツの中から、審査員が「創造性」「市場性」「海外展開性」等の視点で審査を行い、優秀なコンテンツを表彰。

審査委員長は、(株)プラスヘッズ 代表取締役 臺佳彦 氏。

- 『クリエイティブ・アイデア賞』……(株)ロッコン
- 『クリエイティブ・ビジネス賞』……(有)田中印刷所
- 『クリエイティブ・グローバル賞』…マッスル(株)
- 『審査員特別賞』……………(株)ズームス

●バイヤーズサロン

出展企業及び団体のビジネスニーズを事前にヒアリングし、適したバイヤー企業との商談機会をコーディネート。

●ヒートアップボード

開催期間中に会場を訪れた来場者に、興味・関心を持った出展者に名刺を投函してもらい、開催終了後のビジネスマッチングを促進。

CoFesta 2011

オフィシャルイベント

ATP Awards TV Grand Prix 2011



名 称：第28回ATP賞テレビグランプリ 2011

会 期：2011年10月20日(木)

会 場：六本木ヒルズ 六本木ハリウッドホール

主 催：(社)全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)

後 援：総務省／経済産業省／日本放送協会／日本民間放送連盟

対 象：製作会社／放送事業者

来場者数：500人

■内容

第28回『ATP賞テレビグランプリ 2011』の受賞式が10月20日(木)に約500名の関係者を集め六本木ハリウッドホールにて盛況裏に開催された。

冒頭、松崎公昭 総務副大臣、小野直路 NHK副会長、広瀬道貞 日本民間放送連盟会長、迫本淳一 JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行副委員長より挨拶を頂戴した。今年度の応募作品は、130本（新人賞8作品含む）の中から《ドラマ部門》「フリーター、家を買う。」（製作：共同テレビジョン／放送：フジテレビジョン）が会員社及び審査委員（審査委員長：金澤宏次審査委員長・ユニオン映画株）の投票によって選出された。投票結果は、下記の通り。

尚、2011年度の受賞作品一覧及び応募作品一覧、審査講評の詳細は、ATPホームページ(http://www.atp.or.jp/award/award_028.html)にて。

総投票数 96票

◇最優秀賞

《ドラマ部門》 35票

◆「フリーター、家を買う。」

共同テレビジョン／フジテレビジョン

何をしても長続きしない25歳の息子が、母の鬱病をきっかけに、目標に向かって再スタートを切るストーリー。母のために家を買うという壮大な目標を掲げた主人公が、困難にくじけながらも、続けることの大切さを知り、自分と向き合い、仲間を得て成長していく。「いつからでも再スタート出来るわ」の母の台詞は、視聴者みんなに対する、応援の力強いメッセージであり、この作品こそ、今作るべき作品、そして視聴者に届けるべき作品だ。時代のニーズを的確に捉えたスタッフのセンスと表現力は称賛に値する。そして新境地を拓いた主演・二宮和也の演技も光る。

見守ってくれる人がいることが、どんなに嬉しく有難いことか、このドラマが気付かせてくれた。すべての迷える若者に見せたいドラマである。

《ドキュメンタリー部門》 33票

◆「ハイビジョン特集 「北海道 豆と開拓者たちの物語」

プロダクション・エイシア、NHKエデュケーション／日本放送協会(BShi)

小さな豆から広がる豊かで心温まる物語。それを、一年を通して記録された雄大な北海道の風景が支える。雪景色から新緑への同ポジ撮影、ハイスピードの豆の花の開花、開拓民の暮らしや豆を作る営みが丁寧に描かれ、飽きさせない様々な工夫があった。多くの災いに直面した今年、人が働いて食べて生きていこうとする姿に深い感銘を受けた。無名の人々の慈しみが、歴史を紡ぐのだと確信した。

《情報バラエティ部門》 28票

◆「世界で誰も見たことがない対決SHOW ほこ×たて」

厨子王、ザ・ワークス、ディ・コンプレックス／フジテレビジョン

矛盾という言葉を絶妙にコンセプト化した新ジャンル開拓の番組。

技術者のプライドと会社の誇りをかけた戦いは手に汗握る真の人間ドラマ、思わずテレビの前に釘付けになる視聴者も多い！技術を格闘技というツールを用いてバラエティ番組に昇華させた傑作。



オフィシャルイベント



名 称：デジタルコンテンツ EXPO 2011
 会 期：2011年10月20日(木)～22日(土)
 会 場：日本科学未来館
 主 催：経済産業省／財デジタルコンテンツ協会
 共 催：日本科学未来館
 後 援：総務省／外務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／東京商工会議所／
 CG-ARTS 協会(財)画像情報教育振興協会／(財)家電製品協会／
 (社)日本イベント産業振興協会／一般社団法人電子情報技術産業協会／
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会／
 一般社団法人日本動画協会／日本バーチャルリアリティ学会／
 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／3Dコンソーシアム／
 立体映像産業推進協議会／上海マルチメディア産業協会／
 日中CG文化交流協会／香港貿易発展局／韓国コンテンツ振興院／
 台湾デジタルコンテンツ産業推進室
 対 象：業界関係者及び一般
 来場者数：20,516人

■内容

【講演・出展数(全体)】

講演／シンポジウム／セミナー：20セッション
 ステージイベント：16企画

展示：56団体

【実施プログラム】

●特別企画

国際シンポジウムでは「アジアにおけるコンテンツ流通」と題し、コンテンツの国際展開に関して、日本及びシンガポールにおける政策を語り合い、「アジア・コンテンツ・ビジネスサミット(ACBS)」の取り組み等について紹介した。またステージにおいて、「ソーシャルメディアと震災復興」と題し、今年の3月に発生した東日本大震災の際に、ユーザー自身が情報を発信することができるソーシャルメディアが果たした役割、および今後のソーシャルメディアの方向性について語り合った。

●次世代コンテンツ技術展(ConTEX) 2011

防衛省から世界初の「球形飛行体」が実演され、国内外の大きな反響を呼んだことをはじめ、シンポジウム「ソーシャルコンテンツ大爆発～パーソナル・ファブリケーションからゲーミフィケーションまで～」では、100年ぶりのメディア転換点(ネット、スマートフォン、クラウド、等)を背景に、演題に示す分野の第一人者に集まっていたり、全コンテンツ領域に關係する新しい送り手と受け手のメカニズムに関し語り合い、検証を行った。

●ASIAGRAPH2011 in Tokyo

古川聰宇宙飛行士に匠(たくみ)賞が贈られ、同氏の宇宙からのビデオメッセージに加え、1950年代から音楽業界で活躍されている富田勲氏を迎えて、「惑星」、「宇宙」といった壮大なテーマでトークセッションを開催した。また、秋元康氏に創(つむぎ)賞が贈られ、「巨大コンテンツ市場に挑む秋元康の戦略」と題し、アジア圏でブレイクするアイドルグループを創出する戦略について語っていただき、好評を得た。

●国際3D Fair 2011 in Tokyo

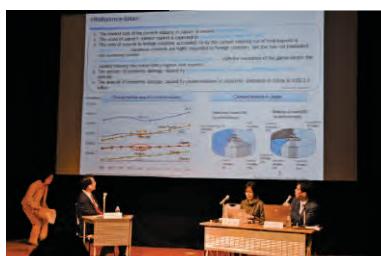
Introductionのセッションにおいて、国際3D協会会长のJim Chabin氏を招き、「3D プラットフォームやコンテンツ専門家にとっての新しい機会とは?」、「利益の上がる3D制作に関する金銭的な課題とは?」、「今後話題を呼ぶ3D映画、3Dテレビ番組は何か?」、等の切り口から、世界の3D関係者が成功を収めるために必要な鍵となる要因について述べていただき、注目された。

●国際パートナープログラム

- Cap Digital : 本年パリにて開催、DCAJが参加した「Futur en Seine」が展示
- Laval Virtual(フランスのカンファレンス) : 展示にて活動を紹介
- 韓国コンテンツ振興院 : 韓国企業を集め、最先端のコンテンツ技術を紹介
- SIGGRAPH : 2011/12月に香港で開催予定の「SIGGRAPH ASIA」の紹介/プレゼン

●参加プログラム

国際3D協会(日本部会)より4セッションのシンポジウム、またCGアートギャラリーが7枚の展示で参加する等、全体で26の企業・団体からの企画を実施した。



CoFesta 2011

オフィシャルイベント

日本賞 JAPAN PRIZE 2011



名 称：第38回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
会 期：2011年10月20日(木)～10月27日(木)
会 場：NHK放送センター
主 催：日本放送協会
対 象：世界教育コンテンツ関係者、研究者、ユーザー
来場者数：688人

■内容

「日本賞」は2008年度に「教育番組」から「音と映像を用いた教育コンテンツ」に対象を広げ、今年はさらに従来のカテゴリーの枠にはまらず革新的なメディア活用に挑むコンテンツを称える新しい賞も設立し、今回は世界61の国と地域から、313の応募が寄せられた。会期中はノミネート作品の制作者やゲームクリエイターなどを招き、世界のメディア・コンテンツの最新情報や教育の最新事情が分かる関連イベント「クロスマスメディア・フォーラム」を開催し、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式ではグランプリ日本賞が発表され、8日間にわたるコンクールが閉幕した。日本賞はこれからも教育的効果のある、優れたコンテンツの可能性を追求していく。

1. エントリー

313作品の応募（内容：コンテンツ部門278、企画部門35、61の国と地域の計200機関、うち初参加の機関・団体81）

2. 主な受賞作品

- コンテンツ部門 グランプリ日本賞
「アメリカを振り返る 人種隔離バスへの抵抗」
WGBH 教育財団(アメリカ)
- 企画部門 最優秀賞：放送文化基金賞
「テレビはダンボール箱」
マラワイ教育研究所(マラウイ)

3. 授賞式 (10月27日 放送センター 101スタジオ)

各賞の受賞者、審査委員(14か国・地域16人)、参加者、各賞授与団体(総務省、文部科学省、外務省、経済産業省他)、大使館関係者など235人の出席者を迎えて実施した。司会は井上芳雄、磯野佑子アナウンサー。

4. 各関連イベント

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 10月20日(木) | 開会式、審査 |
| 10月21日(金)～26日(水) | 審査、22日より関連イベント「クロスマスメディア・フォーラム」 |
| 10月27日(木) | 受賞作品上映会、授賞式、受賞者パーティー |

5. 参加者一覧

会期中のイベント165人(日本人115人、外国人50人)
授賞式235人、受賞者パーティー288人(37か国・地域)

6. 関連番組

- 「第38回日本賞授賞式 ～輝け!教育コンテンツ世界～」
10月30日(日) 午後4時～5時 Eテレ
- 「2011日本賞 presents 世界のとっておきテレビ」
12月24日(土) 午後4時～5時 Eテレ
- 「『第38回日本賞』受賞番組紹介」
12月25日(日) 午前1時20分～3時15分 Eテレ
12月26日(月) 午前1時15分～2時46分 Eテレ
12月27日(火) 午前1時05分～1時49分 Eテレ

オフィシャルイベント

TIFF TOKYO
INTERNATIONAL FILM FESTIVAL
第24回 東京国際映画祭

名称：第24回東京国際映画祭
 会期：2011年10月22日(土)～10月30日(日)
 会場：六本木ヒルズ(港区) ほか
 主催：公益財団法人ユニジャパン(第24回東京国際映画祭実行委員会)
 共催：経済産業省(マーケット部門)／東京都(コンペティション部門)
 後援：総務省／外務省／環境省／観光庁／港区／(独)国際交流基金／
 (独)日本貿易振興機構／東京国立近代美術館フィルムセンター／
 (公財)港区スポーツふれあい文化健康財団／財JKA／
 (社)日本経済団体連合会／東京商工会議所／(一社)日本映画製作者連盟／
 (一社)映画産業団体連合会／(一社)外国映画輸入配給協会／
 モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)／
 全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／
 NPO法人映像産業振興機構／(一社)日本映像ソフト協会／
 (財)角川文化振興財団／(財)デジタルコンテンツ協会／(社)デジタルメディア協会
 補助：(財)JKA(競輪補助事業)
 助成：文化庁
 スペシャルパートナー：トヨタ自動車(株)
 オフィシャルパートナー：木下グループ／日本コカ・コーラ(株)
 協賛：キヤノン(株)／大和証券グループ／ソニー(株)／(株)ファンケル／パナソニック(株)／
 森ビル(株)／(株)WOWOW／凸版印刷(株)／(株)AOKIホールディングス／
 富士フィルム(株)／ソニーページ(株)／ぴあ(株)／(株)ローソン／松竹(株)／東宝(株)／
 東映(株)／(株)角川書店／日活(株)／TOHOシネマズ(株)／(社)映画演劇文化協会／
 (株)ティー ワイ リミテッド
 特別協力：読売新聞
 フードサポーター：宗家 源 吉兆庵
 協力：CineGrid／帝人(株)／テレビ朝日／J-WAVE／ゲッティイメージズ ジャパン(株)／
 (株)Jストリーム／ライトコード(株)／TOKYO MX／
 ジュピターエンタテインメント(株)／(株)ウェブインパクト
 対象：海外招聘ゲスト、国内招聘ゲスト、業界関係者、一般
 来場者数：118,038人

■内容

- オープニング：10月22日(土) 六本木エリアにて
 グリーンカーペット、オープニング・セレモニー、公式オープニング上映『三銃士／王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船』、特別オープニング上映『1911』、オープニング・セレモニー及びグリーンタイ晚餐会
- クロージング：10月30日(日) 六本木エリアにて
 クロージングセレモニー(各賞授賞式)、クロージング上映『マネーボール』、感謝のタペ(懇親会)
- 作品上映：主要部門
 コンペティション、特別招待作品、アジアの風、日本映画・ある視点、WORLDCINEMA、natural TIFF supported by TOYOTA、『東京国際映画祭 in 仙台』特別上映会
 受賞結果：東京 サクラ グランプリ

審査員特別賞	『最強のふたり』
最優秀監督賞	『キツツキと雨』
最優秀女優賞	リューベン・オストルンド『プレイ』
最優秀男優賞	グレン・クローズ『アーレバート・ノップス』
最優秀芸術貢献賞	フランソワ・クリュゼ、オマール・シー『最強のふたり』
観客賞	『転山』『デタッチメント』
TOYOTA Earth Grand Prix	『ガザを飛ぶタ』
TOYOTA Earth Grand Prix 審査員特別賞	『鏡は嘘をつかない』
最優秀アジア映画賞	『ハッピー・ピープル タイガで暮らす一年』
アジア映画賞 スペシャル・メンション	『クリスマス・イブ』
日本映画・ある視点 作品賞	『鏡は嘘をつかない』『TATSUMI』
	『ラジニカーツのロボット(仮)』
	『ももいろそらを』

●共催・提携企画

香川京子と巨匠たち、第8回文化庁映画週間-Here&There-、みなと上映会、日本映画監督協会新人賞・上映とシンポジウム、コリアンシネマウーク2011、ショートショート フィルムフェスティバル&アジア、「フォーカス・オン・アジア」&ワークショップ、2011日本・中国アニメフェスティバル／中国映画・テレビ週間、第24回東京国際女性映画祭、「視覚障害者のための『映画』の在り方を考える」シンポジウム／『幸福の黄色いハンカチ』バリアフリー上映会、伊丹十三監督作品回顧上映「JUZO AGAIN」ほか

●マーケット

TIFFCOM2011



© 2011 TIFF



© 2011 TIFF



© 2011 TIFF



© 2011 TIFF



© 2011 TIFF



© 2011 TIFF

CoFesta 2011

オフィシャルイベント

文化庁映画週間
Here&There
Bunka-Cho Film Week



文化庁映画賞贈呈式



文化庁映画賞記念上映会『ショージとタカオ』



シンポジウム -MOVIE CAMPUS- (第1部)



シンポジウム -MOVIE CAMPUS- (第2部)



映画ナビゲーターズ (10/24)



映画ナビゲーターズ (10/29)

名 称：第8回文化庁映画週間 -Here&There-
会 期：2011年10月22日(土)～10月29日(土)
会 場：六本木ヒルズ／シネマート六本木
主 催：文化庁
共 催：公益財団法人ユニジャパン
協 力：一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本アニメーター・演出協会
対 象：映像業界関係者、一般ほか
来場者数：844人

■内容

●平成23年度文化庁映画賞贈呈式

10月22日(土) 18:00～

・文化記録映画部門

文化記録映画大賞 『ショージとタカオ』

文化記録映画優秀賞 『里湖(さとうみ) 八郎潟物語』

文化記録映画優秀賞 『夢と憂鬱～吉野馨治(けいじ)と岩波映画～』

・映画功労部門

岡安和子(フィルムネガ編集)／金田正(スチール)

兼松熙太郎(映画撮影監督)／小林七郎(アニメーション美術)

笹竹利行(映画美術文字デザイン)／高嶋利雄(映画照明)

●平成23年度文化庁映画賞受賞記念上映会

10月23日(日)

10:50～ 『夢と憂鬱～吉野馨治(けいじ)と岩波映画～』

14:10～ 『里湖(さとうみ) 八郎潟物語』

17:00～ 『ショージとタカオ』

●シンポジウム - MOVIE CAMPUS -

10月28日(金) 13:00～17:30

第一部「今、日本のアニメーション映画の未来を考える」

ゲスト：沖浦啓之(アニメーション映画監督)

布川郁司(株)びえろ 代表取締役／一般社団法人日本動画協会 理事長)

風早完次(東映アニメーション株)取締役 経営戦略本部

海外ライセンス事業部長兼海外戦略推進部長)

鈴木亜矢(アニメーター)

氷川竜介(アニメ評論家)

モデレーター：岡本美津子(東京藝術大学 映像研究科アニメーション専攻 教授)

第二部「映画でつながるために。——風穴を開けつづける映画業界の挑戦者たち」

ゲスト：阿部秀司(株)阿部秀司事務所／(株)ROBOT 創業者・顧問)

川村元気(映画プロデューサー)

梅津 文(GEM Partners株)代表取締役)

モデレーター：斎藤守彦(映画ジャーナリスト)

○会場ロビーにて映画応援団「シネマエール東北～東北に映画を届けよう！プロジェクト」の紹介パネル展示とチャリティーのための募金箱を設置。

●映画ナビゲーターズ

10月24日(月) 19:00～

『本田直之流・レバレッジ映画術』

出演：本田直之(レバレッジコンサルティング株)代表取締役社長兼CEO)

モデレーター：Sascha(J-WAVE ナビゲーター)

10月29日(土) 19:00～

『忘れない女たち』

出演：小島慶子(ラジオパーソナリティー)

モデレーター：松岡ひとみ(映画パーソナリティー)

オフィシャルイベント



名 称：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2011
 会 期：2011年10月24日(月)～25日(火)
 会 場：六本木ヒルズ
 主 催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会
 (構成団体)
 (社)日本民間放送連盟／(株)TBSテレビ／日本テレビ放送網(株)／
 (株)テレビ朝日／(株)フジテレビジョン／(株)テレビ東京／(株)WOWOW／
 日本放送協会／スカパーJSAT(株)／(社)日本映画製作連盟／松竹(株)／
 東宝(株)／東映(株)／角川映画(株)／(社)日本音楽事業者協会／
 実演家著作隣接権センター／(社)全日本テレビ番組製作社連盟／
 NPO法人映像産業振興機構／(社)日本映画テレビプロデューサー協会
 共 催：総務省／経済産業省
 協 賛：(株)電通／(株)博報堂DYメディアパートナーズ
 連携企画：TIFFCOM
 対 象：業界関係者／バイヤー
 来場者数：1,150人

■内容

●「東京ドラマアワード 2011」授賞式・パーティ

- ・司会
石坂浩二、遠藤玲子(フジテレビ・アナウンサー)
- ・ゲスト
二宮和也、鈴木京香、芦田愛菜、内野聖陽、満島ひかり、仲間由紀恵
など
- ・海外ゲスト
ルビー・リン(中国)、タックサーン・パックスックジャルーン(タイ)、
キム・スヒョン(韓国) など



●「国際ドラマフェスティバル in TOKYO」プレゼンテーション

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 事業概要の紹介



●日本コンテンツ秋の新作紹介

NHKおよび民放各社の秋の最新作をVTRで紹介



●シンポジウム

- ・国際市場におけるアジアの可能性と日本への示唆
～ヨーロッパのバイヤーからみたアジア・コンテンツの魅力と課題～
出演：テッド・バラコス (Director of Digital Media, Reed MIDEM) [フランス]
アレクサン德拉・ブート (Head of Distribution, Russian World Studios) [ロシア]
ドラガン・ペトロビッチ (Managing Director, Visionary Thinking) [セルビア]
リダ・バルカウイ (Manager of Artistic Selection, M6) [フランス]



CoFesta 2011

オフィシャルイベント



名 称：TIFFCOM 2011 Marketplace for Film & TV in Asia
会 期：マーケット：2011年10月24日(月)～10月26日(水)
企画マーケット：2011年10月26日(水)～10月27日(木)
会 場：六本木ヒルズ森タワー 40F、アカデミーヒルズ49F
主 催：経済産業省／公益財団法人ユニジャパン
共 催：第24回東京国際映画祭
後 援：(社)衛星放送協会／映像産業振興機構／
一般社団法人映画産業団体連合会／(財)音楽産業・文化振興財団／
一般社団法人外国映画輸入配給協会／
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会／
協同組合日本映画製作者協会／一般社団法人日本映画製作者連盟／
一般社団法人日本映像ソフト協会／(社)日本経済団体連合会／
一般社団法人日本動画協会／(社)日本民間放送連盟／
一般社団法人日本レコード協会／(独)日本貿易振興機構
対 象：業界関係者
のべ来場者数：20,000人

■内容

●出展者データ

- 出展団体数：226 ※過去最高を記録
出展参加国：20の国と地域
出展者内訳：日本106 海外120 (日本46.9% : 海外53.1%)
新規出展：ギリシャ、ナミビア
海外パビリオン：カナダ／韓国／マレーシア／フィリピン／台湾／タイ／
イギリス
◆アジア諸国に加え、イギリス、カナダからのもパビリオンとして多くの会社
が出演。
◆地方テレビ局から世界へ「ローカルTVパビリオン」として6社が出展。

●のべ来場者：20,000人

●バイヤー登録者：817名

●企画マーケット選考企画数

- Master部門： 5企画
Master部門 (KOFIC)： 5企画
New Talent部門： 4企画

*New Talent 企画ピッチ＆サポート結果 (支援決定企画)

「波の向こう」三宅 韶子
「banapara ♪ アプリ」村山 太 (ボーナス)



オフィシャルイベント



名 称：第8回東京国際ミュージックマーケット
 会 期：2011年10月24日(月)～10月27日(木)
 会 場：品川プリンスホテル／ステラボール
 主 催：経済産業省／財音楽産業・文化振興財団
 協 力：一般社団法人日本レコード協会／NPO法人映像産業振興機構
 後 援：外務省／一般社団法人私的録音補償金管理協会／
 一般社団法人日本音楽著作権協会／(社)日本芸能実演家団体協議会／
 (社)日本音楽事業者協会／一般社団法人日本音楽出版社協会／
 一般社団法人日本音楽制作者連盟／
 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会／公益財団ユニジャパン
 対 象：音楽産業関係者(ショーケースライブのみ一般観客も無料招待)
 来場者数：3,420人

■内容

1. レセプション

10月24日(月)19:00～21:00 @メインタワー宴会場28F「エメラルド」
 来場者数：300人強

2. 個別商談会

10月25日(火)、26日(水)11:00～18:00 @ステラボール
 来場者数：500名(2日間)
 海外招聘バイヤー数：14ヶ国・地域80名(昨年：13ヶ国・地域74名)
 参加出展社数 国内：45社・団体 47ブース／海外：7社・団体 7ブース
 ミニライブ出演者
 10/25出演順：藤舎呂英 with his friends、HIROZ SEVEN +、あやまんJAPAN、
 山崎千裕+ROUTE14band、Waa、Schroeder-Headz
 10/26出演順：COLD BAND BANK、Afilia Saga East

3. ビジネスセミナー

10月27日(木) @メインタワー宴会場36F「ガーネット」
 ①12:00～13:30「中国、興行ビジネス」の現状
 入場者数：220人
 モデレーター) アソジア／横澤 優
 パネリスト) 深圳市聚橙網絡技術有限公司CEO／耿 軍
 北京現代天空文化發展有限公司総經理／沈 黎暉
 北京春秋永樂文化伝播有限公司総經理／楊 波
 ②14:30～16:30「インターネットにおける新しいビジネスモデル、課金システム」
 入場者数：250人
 モデレーター) 日経エンタテインメント!編集長／吉岡 広統
 パネリスト) (株)ライブ・ビューイング・ジャパン 取締役／小谷 浩樹
 グーグル(株)YouTubeコンテンツパートナーシップ統括部長／水野有平
 (株)ドワンゴ ニコニコ事業本部アライアンス事業部部長／杉本 誠司

4. ショーケースライブ

10月27日(木) 開場17:00 開演17:30 @ステラボール
 入場者数：一般招待者：1,600人 関係者：400人 ライブ後交流会：150人
 出演者：1000say、IM TAKT、Kanon×Kanon、城南海、THE BOHEMIANS、SEAMO、
 SMELLMAN、7!!、Daichi、玉置成実、DEPAPEPE、南里侑香、バニラビーンズ、HANGRY&ANGRY-f. Fairchild Republic、Francoco、Broken Doll、
 MASTERLINK、May J.、MEGARYU、ももいろクローバーZ

5. 広報

(業界紙)
 「レコード特信」「連合通信」「VAM企画」等(10/12、/25、11/21 etc)
 (一般新聞・雑誌)
 「日本経済新聞」(11/19)「朝日新聞」(12/12)「日経トレンディネット」(11/21)
 (TV 他)
 NHK「J-MELO」(国際11/14 国内11/27)TBS「サンデージャポン」(10/30)
 Syncmusic 各国エンタメ系サイトへ情報出(Ustreamライブ中継告知)

6. その他連携イベント

- ①10/23(日)「V-Rock Festival '11」@さいたまスーパーアリーナ
- ②10/22(土)、23(日)「JAM Project LIVE2011～2012 GO! GO! GOING!!」@東京国際フォーラム・ホールA
- ③10/25(火)「TOKYO BOOT UP! 2011」@新宿Motion他
- ④10/26(水)「CMIC presents「Stand By Your Man」」@新代田FEVER
- ⑤10/26(水)「SCANDAL VIRGIN HALL TOUR 2011「BABY ACTION」」@中野サンプラザ
- ⑥10/29(土)「東日本大震災復興祭 2011 ～子供たちの未来のために～」@国立代々木競技場

※募集方法：延泊費用等は個人負担、イベントへの入場料を無料にして頂き、観覧希望者を募った。



CoFesta 2011

オフィシャルイベント



CREATIVE MARKET TOKYO 2011

Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence

2011. 10. 26 - 28 www.cmtokyo.jp



CMT会場 展示ブース



CMT会場 商談スペース



New Talent企画ピッチ&サポート



CMTスキルアップセミナー



CMTアワード2011の入賞者



ライセンシング・オブ・ザ・イヤー2011の入賞者

名 称 : Creative Market Tokyo 2011

会 期 : <TIFFCOM&CMTコラボ・プログラム New Talent企画ピッチ&サポート>

2011年10月26日(水)13:00~15:00

<ブース展示>

2011年10月27日(木)12:00~19:00／10月28日(金)10:00~19:00

会 場 : 六本木ヒルズ森タワー40F

主 催 : 公益財団法人ユニジャパン(経済産業省 関東経済産業局 補助事業)

協 力 : (株)キャラクター・データバンク

後 援 : 韓国コンテンツ振興院／財CG-ARTS協会／中小企業基盤整備機構／財デジタルコンテンツ協会／社デジタルメディア協会／一般社団法人日本商品化権協会／一般社団法人日本动画协会／不正商品対策協議会／香港貿易发展局

連 携 : ACE Fair2012/Creative Connection Tokyo/TIFFCOM2011 Marketplace for Film & TV in Asia/Hong Kong International Licensing Show 2012 JAPANパビリオン実行委員会/UNIJAPAN ENTERTAINMENT FORUM

対 象 : コンテンツの放送、配給、配信、流通に関わる事業者
(映画配給会社／インターネット関連企業／コンテンツソフトメーカー／出版社／広告代理店／総合商社／金融機関／投資会社／独立系クリエイター／プロデューサー／キャラクターライセンシー企業／文具、玩具、衣料、食品メーカーほか)

来場者数 : 2,047人

■内容

「ひとを探す、コンテンツに出会う」をテーマにした、オールジャンルのコンテンツ制作者の「ビジネス登竜門」であり、販路の確保や製作資金の調達を支援するビジネスマッチング見本市。今年は審査で選ばれたクリエイターによる「コンペティションブース」、コンテンツ・ライセンス関係エージェントや企業による「プロフェッショナルブース」、各地域のインキュベーション・マネージャーや各地方のクリエイティブ企業・団体による「地域ブース」など約110の出展者で構成され、各地域と国内外市場とのHUB(結節点)としての機能を持ちあわせ開催。

<CMTスキルアップセミナー>

アジア最大級のエンタテインメントフォーラム「UNIJAPAN ENTERTAINMENT FORUM (UEF)」との連携により、多彩なコンテンツビジネスに関するセミナーを開催。

●「マンガ・アニメビジネス最前線～異業種との新たな市場創造～」

伊能 昭夫(株)集英社 第3編集部Vジャンプ編集部 編集長 兼 最強ジャンプ編集部 編集長
モレーター：竹内 宏彰(株)ブルズ・アイ 取締役／京都造形芸術大学・金沢工業大学 客員教授

●「**こびとづかん**」にみる創造コンセプトのつくり方

国領一樹(株)ビルダー 代表取締役

モレーター：陸川和男(株)キャラクター・データバンク 代表取締役社長

●「成功する地域コンテンツ産業育成のポイント」

井上 俊彦(一般社団法人札幌・北海道コンテンツ戦略機構 理事長)

杉浦 幹男(財)沖縄県産業振興公社 産業振興部 ハンズオンマネージャー

澤 卓志(福岡コンテンツ産業振興会議)

モレーター：藤井 雅俊(Creative Market Tokyo 2011審査員長)

<連携イベント>

●TIFFCOM & CMTコラボ・プログラム New Talent企画ピッチ&サポート

TIFFCOM企画マーケット参加の映画制作業者やCMT2011出展クリエイターが、来場者に向けて、各自10分の持ち時間で新プロジェクトの内容とビジネスプランのプレゼンテーション(ピッチ)を行う。審査員によって選考された優秀者にはパイロット版動画制作費など企画開発費の支援が行われる。

[受賞企画]

- 企画名: banapara♪アプリ/製作: 村山 太(ボーナス)

●CMT2011プロフェッショナル・プレゼンテーション

新たな市場を創造する注目キャラクターが集結。プロフェッショナルブースの出展企業10社が、来場者に向けて自社コンテンツのプレゼンを行い、その内容を国内外のメディア、メーカー、小売各社からなる審査員が審査してグランプリを決定。

[受賞企業]

- グランプリ: (株)コスモマーチャンダイズィング

- 準グランプリ: (株)スタジオフェイク

<CMTアワード2011>

CMT2011のコンペティションブース出展者及び地域ブースに出展しているコンテスト入賞者の出展作品の中から優れたコンテンツを選出して表彰を実施。

○『CMTアワード2011』…CMT審査員の審査によって、市場性や将来性において優れていると認められたコンテンツに与えられる大賞及び審査員特別賞に加えて、今年度は、東日本大震災からの復興をテーマにしたコンテンツの中から最もふさわしい作品を表彰する復興コンテンツ賞と海外展開促進のための国際賞を創設。

- 大賞 ………………「コルボッコロ」糸曾 賢志

- 復興コンテンツ賞 …「我武者羅應援團第九応援歌」我武者羅應援團

- 審査員特別賞 ……5者

- サポートアワード賞 ……10賞

- 国際賞 ………………9者

○『ライセンシング・オブ・ザ・イヤー2011』…ライセンスビジネス産業の価値を広く社会に発信するとともに、業界の健全な発展に寄与することも目的に1年間で最も活躍したプロパティ(キャラクター、ブランド等)を一般投票、選定委員による投票で選出。

- グランプリ ………………「こびとづかん」(長崎出版)(株)ビルダー

- キャラクター・ライセンス賞、ブランド・ライセンス賞、プロダクト・ライセンシング賞、プロモーション・ライセンス賞、リテイル賞、ニューフェイス賞、選定委員特別賞の各賞を表彰。

オフィシャルイベント



名 称：東京国際アニメ祭 2011 秋
 会 期：2011年10月27日(木)・28日(金) 11:00～18:00
 会 場：秋葉原UDX AKIBA_SQUARE
 主 催：経済産業省／一般社団法人日本動画協会
 後 援：東京都
 対 象：国内外のバイヤー並びにアニメビジネス関係者、及び一般来場者
 来場者数：6,074人

■内容

「東京国際アニメ祭 2011 秋」は本年で2回目の開催となります。日本のアニメ産業のさらなる活性化を狙い、ビジネスマッチングの場として、国内外のアニメビジネスの最新情報を発信。秋から年末年始にかけてのアニメ新作や最新情報などの展示、特別企画プログラムとして海外バイヤー招聘強化事業(東京国際アニメフェア関連)およびビジネスマッチングのためのスペシャルラウンジなどを設置した。

本年度は、現在急速に普及しているスマートフォンに対応したアニメ関連サービスの情報や、日本の有望な輸出産業としてのアニメの可能性など最新情報がAKIBA_SQUAREに集結。

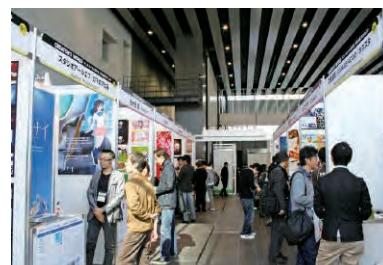
今回は、各社がブース出展する「展示」ゾーン、情報発信を来場者に対して行う「プレゼンテーション」、業界最先端のテーマを取り上げる「シンポジウム」で構成。さらにUDXシアターでは、「カンファレンス」も開催した。

「展示」では、国内の有名企業や鳥取県など、18社19小間が出展し、秋から放送の新作アニメ、劇場作品、オリジナル・ビデオ・アニメ(OVA)や海外セールス展開作品など最新情報を発信した。また、今年3月のTAFで発表予定であった、「クリエーターズワールド」が開催、若手クリエーター8名による作品発表が行われた。

「シンポジウム・カンファレンス」では、2日間で8小間のカンファレンス、11小間のシンポジウム、6社のプレゼンテーションが行われた。

中国を含む海外のアニメビジネスの最新情報、TVアニメの新たな取り組み、またアニメによる地域おこしの事例など最新のパネリストが解説し、業界の最新動向、商品開発、技術関係、海外事情など、幅広い題材を取り上げ、ビジネスに係る知見供給・連携促進を図った。

今回の実施にあたり、「東京国際アニメフェア」の協力を受け、海外バイヤーへの誘致、情報発信を行った。広報強化もあり、2日間で取材70社104名、露出媒体は120件となった。今後は、秋期のアニメイベントとしてアニメ祭の定着化を図る。



オフィシャルイベント

Inter BEE 2011

International Broadcast Equipment Exhibition



名 称：Inter BEE 2011

会 期：2011年11月16日(水)～11月18日(金)

会 場：幕張メッセ

主 催：一般社団法人電子情報技術産業協会

後 援：日本放送協会(NHK)／(社)日本民間放送連盟(NAB-J)

協 力：(社)衛星放送協会／映像産業振興機構／(社)劇場演出空間技術協会／

3Dコンソーシアム／全国舞台テレビ照明事業協同組合／

超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／

特定非営利活動法人ディジタルシネマ・コンソーシアム／

(財)デジタルコンテンツ協会／デジタルサイネージコンソーシアム／

(社)デジタルメディア協会／(社)日本アド・コンテンツ制作会連盟／

(社)日本映画テレビ技術協会／日本映画テレビ照明協会／

一般社団法人日本映画テレビプロデューサー協会／

(社)日本音楽スタジオ協会／(社)日本ケーブルテレビ連盟／

(社)日本CATV技術協会／公益社団法人日本照明家協会／

日本舞台音響家協会／日本舞台音響事業協同組合／

(社)日本ポストプロダクション協会／VFX-JAPAN／

Pre-vis society Asia(仮称準備中)／

一般社団法人モバイルブロードバンド協会(50音順)

対 象：国内外の放送局関係者、CATV、コンテンツ制作者、映像・音響・照明技術者、コンテンツ配信に関連する層を対象

来場者数：30,752人

■内容

本年47回目を迎えたInter BEEの開催規模は、出展者数800社(うち海外466社・34カ国/地域)、出展小間数1,329小間となり、幕張メッセ4ホールから8ホールまでを使用しました。会期中の登録来場者数は、3日間を通じ合計30,752名(うち登録プレス409名)となった。

Inter BEEは、メディアのデジタル化によりコンテンツの多様性が広がる中、映像コンテンツ制作技術と配信技術に関するメディア総合展示会へ変貌を遂げつつある。国際的な技術交流会、広範な需要開拓の場として、様々なビジネスチャンスを提供すべく、本年より、クロスメディアとデジタルコンテンツを訴求する新部門「クロスメディア部門」を新設した。

これにあわせて、総務省の参加を得て、ホワイトスペース、V-Lowなどアナログ停波後の新たなビジネスを探る展示領域を拡大、また、経済産業省が主催するCoFesta2011のオフィシャルイベントの認定を受け、コンテンツを中心としたメディア総合展への進展を見せた。また、ステージング映像、プロジェクトマッピング、ライブサウンドなど、新たな分野への領域拡大を目指し、従来の「創る」、「送る」のみならず、「魅せる」分野も追加していく企画を実施したほか、ラウドネスマータ展示を集約したラウドネスマータゾーンを設置し、地上デジタル完全移行後の新しいビジネス領域を網羅した。

さらに、大きな変貌を遂げつつある技術潮流に呼応し、広範な技術分野を俯瞰できる総合的な展示会を目指すため、従来以上に多様な分野のコンファレンスを開催した。映画『モンスターーズ 地球外生命体』(2011年)や、2012年公開予定の映画『ゴジラ』の監督ギャレス エドワーズ氏などをパネリストに迎えた「Content Forum Special Session～拡がる映像制作の可能性、そして未来～」では、映画制作およびコンテンツビジネスの未来について議論された。展示会場内のオープンシアターで開催された「Asia Contents Forum」では、本年もデジタル映像コンテスト『TBS DigiCon6』と連動し、アジアを中心とする国と地域からクリエータを招き、それぞれ自身の作品や各国のコンテンツ事情について語られた。また、特別セッションでは、スペシャルドラマ「坂の上の雲」のクリエータが、日本の映像業界の今後、海外とのコラボレーションに関して、これからのコンテンツ制作についてディスカッションした。

オフィシャルイベント



名 称：コミックフェスティバル in 東北～コミック出版社 東北応援プロジェクト～
 会 期：2011年11月下旬～2012年1月31日
 会 場：仙台国際センター／AERアトリウム(仙台駅前)／
 東北芸術工科大学大学院仙台スクール
 主 催：「コミックフェスティバル in 東北」実行委員会
 共 催：経済産業省
 後 援：NPO法人映像産業振興機構／仙台市／仙台市教育委員会
 協 力：(株)トーハン／日本出版販売(株)／
 コミック10社会(秋田書店／角川書店／講談社／集英社／小学館／少年画報社／
 新潮社／白泉社／双葉社／リイド社)
 協 賛：ウェブマナー／電撃コミックジャパン
 連携企画：ふくしまアニメーションプロジェクト2011
 対 象：マンガに係る若手クリエーター、学生、子供たち
 来場者数：50,397人

■内容

＜出版ビジネス講演会＞12月2日(金)18:30～20:00 於 東北芸術工科大学大学院仙台スクール
 仙台市コンテンツ育成・振興事業とのコラボレーション、東北芸術工科大学の協力にて開催。

テーマ「出版の本質」：角川書店 代表取締役社長 井上伸一郎

出版界の現状や歴史を説明し、インターネット、キャラクターやライトノベル、メディアミックス等と出版に関連する本質を解説。出版とインターネットは対話するものではないと結んだ。

＜人気漫画家講演会＞12月3日(土) 於 仙台国際センター

漫画作家や編集者など、マンガ関連クリエーターを目指す学生や若手クリエーターを対象に、人気漫画家による講演会を開催。

11:00 セッション(1) 安彦良和

震災体験の思いから東北と自身との関係性とルーツを紹介。ルーツからなる「己の断片」を入れ込んだ作品事例や秘話を解説。

13:00 セッション(2) 飛鳥あると×井上きみどり、『BE・LOVE』編集部 岩間秀和編集次長
 東北在住の女性漫画家によるセッション。デビューエピソードや取材方法、テクニックを開示。地方で漫画家を営むメリット・デメリット、またアシスタントの有用性を論じた。

15:00 セッション(3) 三田紀房、『ヤングマガジン』編集部 伊香淳一編集長・山中洋介編集次長
 漫画家になるまでのエピソードや、コミック編集者との接し方や気の持ち方を伝授。早い制作活動の重要性とアイデアは身近から拾いまくれと具体的に説いた。

16:30 セッション(4) 喜国雅彦×信濃川日出雄×三宅乱丈、『ビッグコミックスピリッツ』編集部 前田一聖
 震災時のツイッターから始まった、電子コミック『僕らの漫画』の成立過程の解説や各々の関わり方・考え方を論じた。若い人へ向けて、デビューから苦労体験、漫画を描く思いを語った。

＜コミック展示会＞12月3日(土)・4日(日) 於 AERアトリウム

コミック出版産業における将来のクリエーター候補である小学生以上を対象に、コミックの楽しさ・素晴らしさをより知つてもらう機会を創出する場となる展示会を開催。

9:30 オープニングセレモニー

10:00 開場(～19:00)

・電子コミック作品の展示・体験コーナー

コミック10社会各社の子供たちに人気の高い作品を中心に、電子コミックリーダーを用いて展示

・10社会推薦「おすすめコミックス」、「東北(ご当地)コミックス」コーナー

子供たちに読んでもらいたいコミックス、ご当地関連のコミックスの紹介、自由に閲覧できる展示の実施

・コミック作家の「被災地応援イラストメッセージ」コーナー

有名作家から新人作家まで、応援イラストメッセージ約500作品を展示

・東日本大震災を体験した「新人漫画家22人からのメッセージ」コーナー

学生を含む新人作家の、被災体験に基づく22作品を展示(協力:『マーガレット』編集部)

・キャラクター握手会コーナー

人気キャラクターとの握手会や撮影会など触れ合いの場を設置

・会場スタンプラリー

展示会場をくまなく見てもらうため、賞品が当たるスタンプラリーを開催

＜東北地方の書店に向けた応援企画＞2011年11月下旬～2012年1月31日

東北6県(青森県、秋田県、岩手県、福島県、宮城県、山形県)の参加書店を対象に、コミック10社会による「東北限定フェア」を開催。各社人気コミックスに共通帯を巻き、特製「キャラクターポストカード」の全員プレゼントや共通帯の応募券により賞品が当たるプレゼントキャンペーンを実施。





CoFesta2011 Partner Events

コ・フェスタパートナーアイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントで国際性、規模等でオフィシャルイベントに準じるもので JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行本部が認めたイベント。

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011(CrIS 関西 2011)

第2回国際科学映像祭

日本映画テレビ技術協会「映像フォーラム 2011」

第33回PFF ぴあフィルムフェスティバル

吉祥寺アニメワンドーランド 2011

第6回札幌国際短編映画祭(SAPPORO SHORT FEST 2011)

学生クリエーターズ・フェスタ in 新宿 2011

全映協フォーラム 2011 in 長野

LA EigaFest 2011

映文連国際短編映像祭「映文連アワード」
「International Corporate Film Showing 2011」

東京TVフォーラム 2011

ふくしまアニメーションプロジェクト2011
—アニメーションと音楽で絆を深めよう—

CP+ (シーピープラス) 2012

第1回町田CON-CANショートフィルム・フェスティバル

パートナーイベント クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011 (CrIS 関西)

名 称：クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011(CrIS 関西)
 会 期：2011年7月28日(木)～12月27日(火)
 会 場：関西各地域(大阪／兵庫／京都／奈良／滋賀／和歌山／福井)
 主 催：CrIS 関西 2011 実行委員会(近畿経済産業局、(公社) 関西経済連合会、
 (株)JTB西日本ほか)
 内 容：2007年度にスタートし今年で5年目を迎えるCrIS 関西は、マーケットの形成、
 人材育成、観光の3つのテーマを基に、関西におけるコンテンツ産業の活性化を目的に実施された。
 来場者：685,798人



● CrIS 関西 2011 参加イベント

名 称：第16回 アニメーション神戸
 会 期：2011年7月28日(木)～12月27日(火)
 会 場：神戸国際会議場 メインホール(授賞式) 他神戸市内の施設で開催
 主 催：アニメーション神戸実行委員会／神戸市／神戸デジタルコンテンツ振興会議
 内 容：商用アニメーションの優れた作品やクリエーターを表彰する授賞式を開催。アニメーション作品のコンテストやワークショップなどを通じて将来有望な若手クリエーターの発掘・育成を行った。
 来場者：19,996人



第 16 回 アニメーション神戸

名 称：LIVING & DESIGN すまいのイノベーション TOTAL INTERIOR
 会 期：2011年9月14日(水)～17日(土)
 会 場：インテックス大阪2号館
 主 催：(社)大阪国際見本市委員会
 内 容：モノづくり力とデザイン力を融合することで住空間産業の拡大につなげる国際見本市。『リビング&デザイン サテライト』、『御堂筋デザインストリート』を大阪市内で同時開催した。
 来場者：8,828人



LIVING & DESIGN すまいのイノベーション TOTAL INTERIOR

名 称：なら国際映画祭 PRE FIESTA 2011
 会 期：2011年9月17日(土)～19日(月・祝)
 会 場：ならまちセンター(市民ホール)／奈良市立椿井小学校、他
 主 催：NPO法人なら国際映画祭実行委員会
 内 容：新旧問わず国内外より集めた映画作品の上映、奈良で活躍する諸団体と連携してのワークショップやアートイベントなどを行い、奈良の町や人々を交えて地域を盛り上げる事を目的とし開催された。
 来場者：9,766人



なら国際映画祭 PRE FIESTA 2011

名 称：びわ湖大津 秋の音楽祭
 会 期：2011年9月17日(土)～11月5日(土)
 会 場：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのほか、大津市街の各施設など
 主 催：びわ湖大津 秋の音楽祭運営協議会
 内 容：国内外のオペラ公演やオーケストラ、室内楽、声楽のコンサート、さらに美術展や映像祭、オリジナリティに富んだイベントに至るまで、幅広いジャンルの催しを集中開催。また、9/17(土)には東北物産展等を開催した。
 来場者：62,093人



びわ湖大津 秋の音楽祭

名 称：OSAKA STYLING EXPO 2011 LIVING
 会 期：2011年9月18日(日)・19日(月・祝)
 会 場：芝川ビル4F モダンテラス
 主 催：大阪スタイリングエキスポ実行委員会
 内 容：大阪らしいライフスタイル「OSAKA STYLING」を発信。「OSAKAN VALUE」をテーマに、選りすぐりのユニークな商品が多数出品された。
 来場者：826人



OSAKA STYLING EXPO 2011 LIVING

CoFesta 2011

パートナーイベント クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2011 (CrIS 関西)



トークセッション「映画×OSAKA」



港で出合う芸術祭 神戸ビエンナーレ 2011



KYOTO CMEX 2011



テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2011



奈良フェスティバルイベント 吉野芸能祭 2011



Japan PopCulture Festival 2011



第30回 KOBE JAZZ STREET

名 称：【イメージ・ビジネスサポート映像セミナー】トークセッション「映画×OSAKA」
会 期：9月26日(月) 18時～20時(予定)
会 場：大阪産業創造館 4階イベントホール
主 催：助大阪市都市型産業振興センター
内 容：「SAIKA～信長を震撼させた男たち～序章パイロット版」、「都OSAKA」、「謝謝OSAKA」の上映と、大阪と映画の関係を3人の映画制作者が語るトークセッション。
来場者：63人

名 称：港で出合う芸術祭 神戸ビエンナーレ 2011
会 期：2011年10月1日(土)～11月23日(水・祝)
会 場：神戸ハーバーランド／ポートアイしおさい公園／兵庫県立美術館
主 催：神戸ビエンナーレ組織委員会／神戸市
内 容：「きら kira」をテーマに、現代アートを中心としたさまざまな分野の芸術作品を展示・展開。アートを活かして、まちの資源を再発見・再評価し、再生・活用につなげることで、神戸の魅力発信と賑わいの演出を目指した。
来場者：24,766人

名 称：KYOTO CMEX 2011(KYOTO Cross Media Experience 2011)
会 期：2011年10月1日(土)～11月27日(日)
会 場：京都国際マンガミュージアム／京都商工会議所／東映京都撮影所／松竹撮影所／東映太秦映画村など
主 催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
内 容：オール京都の産学公連携のもと、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を広く海外・国内に情報発信し、コンテンツ業界の振興と人材育成・人材交流を図る事業を京都市内各所で開催した。
来場者：77,179人

名 称：テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2011
会 期：2011年10月5日(水)～7日(金)
会 場：京都リサーチパーク
主 催：一般財団法人テクニカルコミュニケーション実行委員会
内 容：マニュアルをはじめとする多彩な使用説明の制作と発信に携わる人々を育成し、製作に求められるデザイン力の開発や、ツール活用能力を高めるための自己啓発の機会を提供した。
来場者：730人

名 称：奈良フェスティバルイベント 吉野芸能祭 2011
会 期：2011年10月8日(土)・9日(日)
会 場：奈良県・金峯山寺藏王堂特設舞台
主 催：奈良フェスティバル実行委員会
内 容：歌舞伎、能、雅楽などの古典芸能を開催するフェスティバル。翌年から始まる「奈良フェスティバル」のプレイベントとして開催され、「金峯山寺奉納歌舞伎」の公演、記念セミナーが行われた。
来場者：2,000人

名 称：Japan PopCulture Festival 2011
会 期：2011年10月8日(土)・9日(日)
会 場：関西国際空港
主 催：Japan PopCulture Festival 実行委員会
内 容：関西国際空港を舞台に日本のポップカルチャーを世界に発信するイベント。海外(主にアジア圏)からの若い観光客の誘致と関西のインバウンド活性化をはかった。また、今開催では台湾との文化観光交流促進も展開された。
来場者：5,000人

名 称：第30回 KOBE JAZZ STREET
会 期：2011年10月8日(土)・9日(日) 12:00～17:00
会 場：北野町～トアロード界隈 10会場
主 催：神戸ジャズストリート実行委員会
内 容：ジャズ発祥の町・神戸から全国に向けて発信する文化イベント。
来場者：延べ16,500人

名 称：Panasonic Beauty presents MINAMI WHEEL 2011
 会 期：2011年10月14日(金)～16日(日)
 会 場：大阪・ミナミエリア一帯(約20会場)
 主 催：FM802／MINAMI WHEEL 2011 事務局(事務局構成団体=FM802／大阪ウドー音楽事務所／キヨードー大阪／GREENS CORPORATION／サウンドクリエータースマッシュウエスト／ソーゴー大阪／ページワン／夢番地)
 内 容：日本の音楽シーンを担う新人・中堅アーティストを中心に20ヶ所以上の会場で300組以上のアーティストが出演したライブショーケースフェスティバル。
 来場者：16,000人



Panasonic Beauty presents MINAMI WHEEL 2011

名 称：大阪創造取引所2011
 会 期：2011年10月18日(火) 10:00～19:00 19日(水) 10:00～17:00
 会 場：堂島リバーフォーラム
 主 催：【企画】大阪創造取引所2011実行委員会(近畿経済産業局／(公社)関西経済連合会／大阪府／大阪市／大阪商工会議所／(株)マッシュ【運営主体】(株)マッシュ 【プロデュース】(株)スーパーステーション
 内 容：世界初の先物取引市場が開かれた大阪の地で2008年から毎年開催されている商業用コンテンツの展示・商談会。コンテンツの環境・医療・教育・食・デザイン・ファッション等のあらゆる分野で利活用することを目指し、新しい出会いでビジネス機会を広げた。
 来場者：2,022人



大阪創造取引所 2011

名 称：ゆるキャラ®まつりin彦根 ~キグるミさみつと 2011～
 会 期：2011年10月22日(土)・23日(日)
 会 場：彦根市中心市街地商店街
 主 催：「ゆるキャラ®まつり in 彦根 ~キグるミさみつと 2011～」実行委員会
 内 容：世界で最も参加キャラの多いイベント。ゆるキャラ®の聖地「彦根市」に集まった200キャラ以上のゆるキャラ®たちがPRステージでそれぞれの町のPRを行った。
 来場者：78,000人



ゆるキャラ®まつり in 彦根 ~キグるミさみつと 2011～

名 称：第26回 国民文化祭・京都2011 マンガアートフェスティバル
 会 期：2011年10月29日(土)～11月6日(日)
 会 場：京都国際マンガミュージアム及び元離宮二条城二の丸御殿台所
 主 催：文化庁／京都府／京都府教育委員会／京都市／京都教育委員会／京都国際マンガミュージアム／第26回国民文化祭京都府実行委員会／第26回国民文化祭京都市実行委員会
 内 容：京都国際マンガミュージアムを中心にマンガの未来的・国際的な可能性を探り、文化としてのマンガの魅力を体感する機会を提供することにより、京都からマンガ文化の素晴らしさを世界に発信した。
 来場者：京都国際マンガミュージアム11,553人、元離宮二条城二の丸御殿台所4,123人



第26回国民文化祭・京都2011 マンガアートフェスティバル

名 称：第11回 高槻アート博覧会
 会 期：作品展示期間／11月1日(火)～30日(水) コアイベント／11月12日(土)
 会 場：JR高槻駅・阪急高槻市駅周辺の中心市街地
 主 催：高槻アート博覧会実行委員会
 内 容：今年度からよりアート色を強めたイベントへと進化し、高槻市中心部の商店街、百貨店、企業など約25会場で作品の展示。「アートのまち高槻」を広く発信した。
 来場者：約10,000人



第11回 高槻アート博覧会

名 称：第26回国民文化祭・京都2011 木津川アート2011
 会 期：2011年11月3日(木・祝)～13日(日)
 会 場：京都府木津川市内 指定エリア
 主 催：文化庁／京都府／京都府教育委員会／木津川市／木津川市教育委員会／第26回国民文化祭京都府実行委員会／第26回国民文化祭木津川市実行委員会／木津川アートプロジェクト
 内 容：木津川を舞台に使われなくなった建物、何処か懐かしい風景、アートを感じさせる空間などを利用し、市民ボランティアの協力の下、展示やパフォーマンスが行われた。
 来場者：約60,000人



第26回国民文化祭・京都2011 木津川アート2011

CoFesta 2011

パートナーイベント クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS 関西)



学生映像コンテスト BACA-JA2011



第 7 回学生国際ショートムービー映画祭



第 31 回「地方の時代」映画祭 2011



第 14 回 京都国際学生映画祭



飛鳥アートプロジェクト 2011



田辺・弁慶映画祭 2011



福井映画祭 2011

名 称：学生映像コンテスト BACA-JA2011
会 期：2011年11月15日(火) 予定
会 場：大阪大学中之島センター
主 催：関西テレビ放送
内 容：日本で唯一、全国の芸術系・情報系の学生を対象とし、学校単位で応募できる映像コンテスト。受賞者には、プロとなって国内外で活躍している方が多く、「映像コンテンツ部門」と「ネットワーク部門」の2部門で開催された。
来場者：約 200 人

名 称：第7回学生国際ショートムービー映画祭
会 期：2011年11月19日(土)
会 場：大阪芸術大学 映画館
主 催：特定非営利活動法人／南大阪地域大学コンソーシアム
内 容：「絆」をテーマに、学生ならではのメッセージや感性を活かしたフレッシュな作品を募集し、審査・上映を行う「学生国際ショートムービー映画祭」。
来場者：34 人

名 称：第31回「地方の時代」映画祭 2011
会 期：2011年11月19日(土)～25日(金)
会 場：関西大学 千里山キャンパス内
主 催：「地方の時代」映画祭実行委員会
内 容：今年の映像祭は、東日本大震災からの復興を願い、今年のサブテーマに「支え合う! 地域力」を掲げました。
来場者：2,843 人

名 称：第14回 京都国際学生映画祭
会 期：2011年11月19日(土)～26日(土)
会 場：京都シネマ／京都府京都文化博物館／京都シネマ／京都府京都文化博物館
主 催：公益財団法人大学コンソーシアム京都
内 容：京都周辺の学生が主体となって企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。その入選作品をメインプログラムとして上映するほか、同時にその他の様々な魅力的な企画を開催した。
来場者：688 人

名 称：飛鳥アートプロジェクト 2011
会 期：2011年11月23日(水・祝)～12月25日(日)
会 場：奈良県高市郡明日香村
主 催：飛鳥アートプロジェクト 2011 実行委員会／奈良県／明日香村／NHK奈良放送局／毎日新聞社
内 容：石舞台古墳などの古代アートと現代アートが初のコラボレーション。現代アートのパワーと飛鳥の大地のおおらかさを融合させた新たな世界を創造した。
来場者：①石舞台古墳会場 約 28,600 人 ②奈良県立万葉文化館会場 約 10,700 人
③国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区会場 約 13,200 人

名 称：田辺・弁慶映画祭 2011
会 期：2011年11月25日(金)～27日(日)
会 場：紀南文化会館
主 催：田辺・弁慶映画祭実行委員会
内 容：2009年から「東京国際映画祭」の提携企画として開催。今年5年目を迎える本映画祭はインディーズの登竜門となる映画祭。
来場者：1,663 人

名 称：福井映画祭 2011
会 期：2011年12月3日(土)・4日(日)
会 場：鯖江市文化センター
主 催：福井映画祭実行委員会
内 容：全国から自主製作映画を募集し、選りすぐりの作品が楽しめるイベント。
来場者：133 人

名 称：クリ博就職フェスタ大阪
 会 期：2011年12月22日(木)
 会 場：大阪大学中之島センター
 主 催：(株)イマジカデジタルスケープ
 内 容：ゲーム・アニメ・TV・映画・映像・広告・CM・Web・デザイン・プロダクト・
 音楽などのコンテンツ産業の求人情報に特化した就職・転職情報サイト
 「クリ博ナビ」の会員限定就職イベント。
 来場者：306人



クリ博就職フェスタ大阪

名 称：ふくいソフトウェア コンペティション2011表彰式
 会 期：2011年11月14日(月)～12月上旬
 会 場：(公財)ふくい産業支援センター
 主 催：(公財)ふくい産業支援センター
 内 容：基盤技術の強化を図ることを目的に、プログラム等の作品を公募し、
 その優秀性と先進性を競うソフトコンペティション。福井県内産業の明
 日を担う高度な情報技術を有する人材の発掘、確保、育成を行った。
 来場者：約40人



ふくいソフトウェア コンペティション 2011 表彰式

パートナーイベント 第2回 国際科学映像祭

名 称：第2回 国際科学映像祭 -Science & Art -
 会 期：2011年8月10日(水)～10月2日(日)
 会 場：科学技術館／府中市郷土の森博物館他
 主 催：第2回 国際科学映像祭実行委員会
 共 催：自然科学研究機構 国立天文台／
 第3回東京国際科学フェスティバル実行委員会
 後 援：文部科学省
 対 象：一般、科学館職員、研究者、技術者など
 来場者：約570,000人(参考：総入場者数 約1,750,000人)

■内容

この国際科学映像祭の開催目的は次の3つである。①良質な科学映像コンテンツを広く国内外に紹介し、多くの人々に見ていただく機会を提供する。②コンテンツ制作や技術開発に関わる人々の情報交換を促進する。③新進クリエータの作品発表の場を設け、国際的に活躍できる場とコミュニティを創出する。

今年は、「Science & Art」とし、科学と芸術との融合をメインテーマとして開催した。参加会場は、関東のみならず、北海道から、西は中四国地方の39施設。

主なメインプログラムは以下の通りである。

- ・協力会場における科学映像上映、スタンプラリー
 科学館やプラネタリウム、シアターなど39施設での科学映像上映、スタンプラリー
- ・サイエンスフィルムカフェ＆ワークショップ(科学技術館)
 科学技術映像祭入選作品の上映と映像クリエータのトークおよびワークショップ
- ・ドームフェスティバル～Science & Art～(府中市郷土の森博物館)
 国内外のドーム映像作品上映及び海外からの招待講演、ショートプログラム作品コンテスト、関連企業展示、3D作品上映会



CoFesta 2011

パートナーイベント 日本映画テレビ技術協会「映像フォーラム 2011」



名 称：日本映画テレビ技術協会「映像フォーラム 2011」
会 期：2011年9月8日(木)、9日(金)
会 場：スペースFS汐留
主 催：(社)日本映画テレビ技術協会
後 援：経済産業省／映画産業団体連合会／日本映画製作連盟／
日本放送協会／日本民間放送連盟／映像産業振興機構／
日本映画撮影監督協会／日本映画・テレビ照明協会／
日本映画・テレビ美術監督協会／日本映画・テレビ編集協会／
日本映画・テレビ録音協会
協 力：スペースFS汐留／映像新聞社／ユニ通信社
対 象：映像制作者、ほか
来場者：201人

■内容

●【震災関連セミナー】

「東日本大震災・メディアが果たすべき責任とは～被災地の現場で考えること」「震災時におけるインターネット動画サイトの基本と応用」等、専門家や記者、カメラマンを招いた講演・パネルディスカッション。

●【映像技術基礎知識セミナー】

「映画録音～マルチチャンネルへの対応～」、「VFXの技術『坂の上の雲』マイキング」等、映像制作者を対象にした基礎講座を展開。『必死剣鳥刺し』『人間失格』上映。

●映像フォーラム 2011の収益は、「テレビ朝日 ドラえもん募金」へ東日本大震災被災者支援として全額寄付致しました。

パートナーイベント 第33回 PFF ぴあフィルムフェスティバル



「PFF アワード 2011」受賞者とプレゼンターの皆様
© 2011年9月30日発表 ORICON STYLE より



長谷川和彦監督（右）と河瀬直美監督（左）



新進の廣原監督にレクチャーする黒沢清監督（右）

名 称：第33回 PFF ぴあフィルムフェスティバル
会 期：2011年9月20日(火)～9月30日(金) *9月26日休館
会 場：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール
名古屋、京都、神戸、福岡で順次開催
主 催：PFFパートナーズ(ぴあ、ホリプロ)／公益財団法人ユニジャパン
共 催：東京国立近代美術館フィルムセンター
特別助成：一般社団法人映画演劇文化協会

後 援：一般社団法人日本映画製作連盟／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／
協同組合日本映画監督協会

特別協賛：セガサミーグループ

協 賛：(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構

協 力：早稲田大学

対 象：一般観客、映画監督志望者、映画製作・配給等関係者、映画・映像教育機関関係者

来場者（地方開催含む）：7,000人（予定）

■内容

●コンペティション部門「PFFアワード 2011」：応募総数602本から17入選作品を東京開催中に2回上映し、最終日の表彰式にてグランプリをはじめとした各賞を発表。

●招待企画：①「映画のレッスン」今なお監督志望者に影響を与え続ける長谷川和彦監督を招き、代表作2作品の上映と岩井俊二、河瀬直美監督との対談や、他に黒沢清監督、塚本晋也監督の講座形式のトークを実施。②「Black and White」：ハンガリーの鬼才タル・ベーラ監督の7時間を越える大作「サタンタンゴ」の一挙上映と、エルンスト・ルビッチ監督作品のピアノ生演奏付上映を通じてモノクロ映画の魅力について特集。③オープニング特別プレビューとして、2008年PFFグランプリ受賞者、石井裕也監督の最新作「ハラがコレなんで」を、クロージングとして、第21回PFFスカラシップ「恋に至る病」を上映。

パートナーイベント 吉祥寺アニメワンダーランド 2011

名 称：吉祥寺アニメワンダーランド 2011
 会 期：2011年10月1日(土)～10月10日(月・祝)
 会 場：吉祥寺駅周辺
 (吉祥寺シアター／井の頭公園野外ステージ／東急百貨店吉祥寺店北側広場／
 武蔵野商工会館 他)
 主 催：吉祥寺ウェルカムキャンペーン委員会
 (武蔵野商工会議所／吉祥寺活性化協議会／武蔵野市商店会連合会)
 後 援：武蔵野市／武蔵野市開発公社／東京都／経済産業省関東経済産業局
 対 象：一般観客
 来場者：延べ42,000人

■内容

こどもから大人まで大人気の「チェブラーシカ」をメインキャラクターに10月1日から10日間開催。オリジナルスタンプを作成し、吉祥寺駅周辺5つのポイントを巡る「チェブラーシカ スタンプツアー」では、北海道や大阪など遠方からの参加者もあり。恒例のイベントからメインイベントと大盛況だった。

[メイン・恒例イベント 参加者報告]

・チェブラーシカスタンプツアー	10/1～10/9	参加者：4,200人
・親子でガンダムプラモデルを作ろう！	10/2	参加者： 250人
・吉祥寺おもちゃ市場	10/1・2	参加者：10,000人
・吉祥寺アニメーション映画祭	10/8	参加者： 100人
・井の頭公園 森のわくわくステージ	10/8・9	参加者：22,000人
・ "森のわくわくバザール		
・まちなかファミリーステージ	10/1・2	参加者：5,000人



パートナーイベント 第6回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO SHORT FEST 2011)

名 称：第6回札幌国際短編映画祭(SAPPOROショートフェスト2011)
 会 期：2011年10月5日(水)～10月10日(月)
 会 場：札幌プラザ2・5／シアターキノ／イベントスペース EDiT
 主 催：SAPPOROショートフェスト実行委員会／札幌市
 後 援：札幌市内の新聞社・放送局／各大使館 など
 対 象：札幌市民、映像制作業者、観光客ほか
 来場者：10,779人(本祭前後の上映含む)

■内容

●コンペティションプログラム、特別プログラムの上映
 コンペは24ヶ国から78本を上映。
 その他、国内の秀作を紹介するオフシアタープログラムや、海外の映画祭やフィルムセンター協力の特別プログラムを上映。
 6日間で合計185本の短編映画を上映。

●4名の国際審査員がフィルムメーカー部門、作品部門の各グランプリのほか、13の各賞を選出。

細野 晴臣	(音楽家／日本)
熊切 和嘉	(映画監督／日本)
イム・スンレ	(映画監督／韓国)
アンドリュー・トーマス	(ディレクター／イギリス)

●業界関係者向けの観光フォーラム、子どもの映像制作についての教育フォーラム、プロフェッショナル映像機材セミナーなども開催。



© SAPPORO ショートフェスト実行委員会



© SAPPORO ショートフェスト実行委員会



© SAPPORO ショートフェスト実行委員会

CoFesta 2011

パートナーイベント 学生クリエイターズ・フェスタ in 新宿 2011



名 称：学生クリエイターズ・フェスタ in 新宿 2011
会 期：2011年10月15日(土)～10月23日(日)
会 場：新宿モア4番街／歌舞伎町セントラルロード／シネシティ広場／東京都健康プラザハイジア／区立大久保公園／旧新宿コマ劇場壁面／新宿区役所／新宿ゴールデン街
主 催：新宿区・学生クリエイターズ・フェスタ in 新宿 2011実行委員会
後 援：経済産業省／東京都
協 賛：東日本旅客鉄道(株)／小田急電鉄(株)／(株)ロッテ／住友不動産(株)／東日本電信電話(株)／東京商工会議所新宿支部／(株)三越伊勢丹ホールディングス／京王電鉄(株)／西武鉄道(株)／大日本印刷(株)／(株)東急レクリエーション／東京地下鉄(株)／日清食品(株)／野村不動産(株)／藤田観光(株)／三菱地所(株)／大成建設(株)／東宝(株)／(株)ヒューマックス

対 象：一般来街者
来場者：延べ245,000人

■内容

●アート・コンペティション

「繋がりの誘発」をテーマに、学生が創作した空間デザインアート(15校・20作品)やデジタル映像作品(9校・69作品)を展示・上映し、審査した。

●デザインTシャツ展示・オークション、インターネット販売

落語家や吉本興業の芸人、公募の学生等がデザインしたオリジナルTシャツ約120枚を、アート作品として展示した。一般公募の作品はインターネットで、それ以外の作品はオークションで販売し、売り上げの一部を東日本大震災の被災地に寄付した。

●このほか、アートバザールなど多彩なイベントを実施した。

パートナーイベント 全映協フォーラム 2011 in 長野



名 称：全映協フォーラム 2011 in 長野
会 期：2011年11月1日(火)
会 場：JA長野県ビル アクティーホール
主 催：(社)全国地域映像団体協議会／長野県映像制作社協会
主 管：長野映協実行委員会
後 援：総務省／経済産業省／文化庁／長野県／長野市／(社)信州・長野県観光協会／(社)長野県経営者協会／(社)日本民間放送連盟／NHK／信濃毎日新聞／(株)映像新聞社／(財)デジタルコンテンツ協会
対 象：映像業界関係者、観光事業従事者、一般
来場者：350人

■内容：

長野から映像で結ぶ「絆」！ 地域を元気に！ 映像コンテンツで地域振興！ 海外からの誘客、産業の進出を促進する、映像コンテンツの係り方を日本中、世界中に発信した。

総務省 プрезентーション 竹村晃一課長

講演「今後の3D映像ビジネスの可能性」「3D制作の現状とコンテンツの活用法」シンポジウム「映像コンテンツが切り拓く地域活性化」

経済産業省 伊吹英明課長、Ustream 山本准部長、中川企画室 中川完治代表、経済産業大臣賞の岡野健将氏が活発な議論を展開した。

「全映協グランプリ受賞作品」

総務大臣賞： HTB「生と死の医療」

文部科学大臣賞：「笑顔が広がる町歩き」金沢桜丘高校

経済産業大臣賞：「Do you really know SAKE」

長野県知事賞：「地球文化アーカイブスプロジェクト」

他 最優秀賞、優秀賞23作品が選ばれた。

この模様は、Ustream Asiaで世界にライブ中継し、1,560人の同時アクセスがあった。



パートナーアイベント LA EigaFest 2011

名 称：LA EigaFest 2011
 会 期：2011年11月11日(金)～11月13日(日)
 会 場：チャイニーズシアター（ロサンゼルス）
 主 催：Japan Film Society
 後 援：経済産業省／公益財団法人ユニジャパン／在ロサンゼルス日本国総領事館／
 　　ジェトロ／Japan Foundation(国際交流基金)
 対 象：ロサンゼルス近郊在住の日本文化と映画に興味のある20～40代を中心とした男女。
 来場者：2,100人

■内容

一般アメリカ人観客を対象とし、日本映画及び文化により関心を持つてもらい、日本のプレゼンスとブランド力の向上に貢献することを目的とする。更に、日本の若き才能のハリウッド進出のプラットフォームになると同時に、業界間のコミュニケーションを促進させ、日米エンタメ業界の橋渡し役的な映画祭となることを目的とする。

初日：オープニングレッドカーペットセレモニー、西海岸プレミアとなる映画「ミロクローゼ」を上映。ゲストとして石橋義正監督、主演俳優山田孝之氏、斎藤寛明プロデューサーにお越しいただいた。その後、The Highlands Hollywoodにてアフターパーティを開催。**2日目：**スクリーニング、QAセッション、日米エンタメ業界の専門家によるハリウッド・ジャパン共同制作パネルディスカッション及びネットワーキングセッションを Renaissance Hollywood Hotel にて開催。**3日目：**スクリーニング、ゴールデンジパング賞(※)の選定・発表とクロージングセレモニーを開催。

※ゴールデンジパング賞ではハリウッドで影響力のある人物を審査員として招待し、最優秀作品を選定・発表。

上映作品数：長編12作品、短編9作品(公募長編、短編、各3作品含む)。



パートナーアイベント 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード」

名 称：映文連 国際短編映像祭「映文連アワード」
 会 期：2011年11月29日(火)～12月2日(金)
 会 場：時事通信ホール／富士フィルム西麻布本社1階ホール
 主 催：公益社団法人 映像文化製作者連盟
 後 援：文部科学省／経済産業省／東京都／映像産業振興機構／
 　　日本映画テレビ技術協会／日本アド・コンテンツ制作社連盟／
 　　日本ポストプロダクション協会／日本映画撮影監督協会／
 　　日本映画テレビ照明協会／機械産業記念事業財団／毎日新聞社／
 　　読売新聞社／映像新聞社／ユニ通信社

対 象：一般観客、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す学生等
 来場者：630人

■内容

●映文連アワード 2011 表彰式

●International Corporate Film Showing 2011(世界の優秀企業映像を見る会)

国内では鑑賞の機会が少ない海外の優れた企業映像を紹介する上映会で、World Media Festival(独)、U.S. International Film & Video Festivalより厳選した13作品とアジアの企業映像を上映した。

●映文連アワード 2011 受賞作品上映会

4プログラムに分けて受賞作品27作品を一挙上映。両日ともトークセッションを開催。

●映文連アワード 5周年記念特別上映会

失われた日本の原風景、様々な記憶を呼び起す映像を特別上映し、トークセッションでは日本映画大学学長の佐藤忠男氏、映画監督の小栗康平氏をメインゲストに迎え、映画及び短編映像の果たすべき役割などについて語ってもらった。



CoFesta 2011

パートナーイベント 東京 TV フォーラム 2011



名 称：東京 TV フォーラム 2011(TOKYO TV FORUM 2011)
会 期：2011年12月12日(月)～14日(水)
会 場：都市センターホテル
主 催：全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)
共 催：放送批評懇談会／放送人の会／全国地域映像団体協議会(全映協)／
映像文化製作者連盟(映文連)
後 援：総務省／経済産業省／外務省／日本放送協会／日本民間放送連盟／
知的財産戦略本部／東京都／放送文化基金／国際交流基金／
日本貿易振興機構(ジェトロ)
協 力：NHKエンタープライズ／電通
対 象：テレビ番組制作者、テレビ局、配給業者、一般
来場者：約600人

■内容

- 放送コンテンツの海外発信力を強化するために、何が求められているのか、海外の事例を交えて検討することを目的に、初開催。
- コミッショニング・エディター（番組採択権限を持つテレビ局プロデューサー）や番組配給業者ら約20名を海外から招聘し、日本初となるドキュメンタリーの公開提案会議「ピッチング・セッション」のほか、「国際シンポジウム」「ワークショップ」を実施。
- 公開提案企画の中から、ベストピッチ賞1本、奨励賞3本を選出。

パートナーイベント ふくしまアニメーションプロジェクト



名 称：ふくしまアニメーションプロジェクト—アニメーションと音楽で絆を深めよう—
会 期：2012年1月14日(土)
会 場：郡山市公会堂
主 催：ふくしまアニメーションプロジェクト2011実行委員会
後 援：福島県／福島県教育委員会／郡山市／郡山市教育委員会／
福島県合唱連盟／経済産業省東北経済産業局
対 象：一般市民
来場者：221人

■内容

- 合唱が盛んな郡山市で、アニメーションおよびアニメーションソングという世界に高く評価されるコンテンツの力を借りて、子どもたちの歌声をより大勢の方に届けることを目的に開催。

●トークセッションでは、アニメ監督や音楽プロデューサーという仕事について、また、合唱やアニメやアニソンが言葉や文化を超えて世界に通じるコンテンツであることなどが語られ、合唱とアニメとアニソンで福島から全国に文化発信する可能性についても語られた。

●プログラム

- <第1部 合唱演奏>出演者：FCT郡山少年少女合唱団 / 曲目：『君をのせて』ほか4曲
- <第2部 アニメーション上映>上映作品：アニメーション映画『ももへの手紙』
- <第3部 トークセッション>出演者：沖浦啓之様(映画監督)、菅野正美様(福島県合唱連盟理事長・福島県立郡山高等学校教諭)、野崎圭一様(株)フライングドッグ音楽制作部長・音響監督)、モデレーター：鈴木美潮様(読売新聞文化部記者)
- <エンディング 合唱演奏>出演者：FCT郡山少年少女合唱団 / 曲目：『ウルワシマホロバ～美しい場所～』(『ももへの手紙』主題歌)



パートナーイベント CP+2012 (シーピープラス)

名 称：CP+2012(シーピープラス)
 会 期：2012年2月9日(木)～12日(日)
 会 場：パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール
 主 催：一般社団法人力カメラ映像機器工業会(CIPA)
 協 賛：日本写真映像用品工業会
 後 援：経済産業省／観光庁／神奈川県／横浜市／横浜商工会議所／
 日本貿易振興機構(ジェトロ)
 コーディネーター：凸版印刷(株)
 対 象：ビジネスユーザー・コンシューマー・国内外プレス
 来場者：65,120人

■内容

CP+ (シーピープラス) は、国内外の写真映像に関わる企業が集まり、カメラ・レンズをはじめフォトプリンター、フォトアクセサリー、望遠鏡、その他写真関連機材など、多岐に渡る写真映像関連商品や最新技術を紹介する場であり、“撮る・見る・つながる”をキーワードに、あらゆるセミナーやイベントを通してより楽しく豊かなフォトライフを提案する、カメラと写真映像の情報発信イベント。3回目に当たる今回は“ワールドプレミア 伝える、つながる、写真の力”とテーマを掲げ、より国際的に、カメラおよび写真映像文化の最先端の情報を発信した。



パートナーイベント 第1回町田 CON-CAN ショートフィルム・フェスティバル

名 称：第1回町田CON-CAN ショートフィルム・フェスティバル
 会 期：2012年2月11日(土)～12日(日)
 会 場：町田市民フォーラム(メイン会場)／
 町田市民文化交流センター(サテライト会場)／
 町田市立中央図書館(サテライト会場)
 主 催：町田CON-CANショートフィルム・フェスティバル実行委員会
 共 催：マチダ大学／(株)メディア総合研究所
 後 援：町田市教育委員会／町田市文化・国際交流財団／観光コンベンション協会／
 さがまちコンソーシアム／タンペレ国際映画祭／フィンランド大使館／
 文化芸術振興議員連盟
 協 賛：小田急電鉄(株)／パトリック・キソ・ガーデン／(株)薬師スタジオ／
 ポイントドットコム
 協 力：なら国際映画祭／フィンランドセンター／町田市立中央図書館
 対 象：一般市民、映像関連業種関係者およびそれらの職種を目指す方々
 来場者：800人

■内容

- 「フィンランド特集」／タンペレ映画祭とのコラボによるフィンランドショート・プログラム
- 「平林勇特集」／世界の国際映画祭で活躍する平林勇監督による作品特集
- 「ショート・カツツ」／海外の受賞作品等CON-CAN一押しのショート・リスト
- 「女性クリエーター特集」／世界で活躍する女性クリエーター作品特集
- 「ラブ・ストーリー」／文化の数だけ愛の表現も様々－世界の愛の形にフォーカス
- 「つながり」／社会、文化、国家などの「関係性」にフォーカス
- 「3.11 A sense of Home Films」／河瀬直美監督が世界に広げるべくスタートした復興支援プロジェクト
- 「バリアフリー映画特集」／視覚、聴覚障がい者対応映画－誘導ボランティアあり





CoFesta2011 Original Events

コ・フェスタオリジナルイベントとは、各イベントが連携し相乗効果を生み出すための分野横断的イベント。

コ・フェスタ2011グランドセレモニー

こどもコ・フェスタ 映像制作・発表事業

こどもコ・フェスタ in 東北
みてみたい、みつめたい～すばらしい未来へのメッセージ～

オリジナルイベント コ・フェスタ 2011 グランドセレモニー

名 称：コ・フェスタ 2011 グランドセレモニー

日 時：9月13日(火) 19:00～21:00

場 所：東京會館 ローズルーム

出席者：600人

外国人招待者、関係省庁・自治体関係者、実行委員会委員、百人委員会委員・関係者、コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーアイベント事務局、プレス等

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

■内容

開催5年目を迎えるコ・フェスタ 2011のセレモニーとして国内外のコンテンツ業界関係者、政府関係者、クリエイター、各種メディアが一堂に会し交流を深めることを目的とした国際的なイベントで、今年度は百人委員会の結団式を統合し開催した。東日本大震災を受け「みんなのコ・フェスタ」「こどもコ・フェスタ」を提案し、被災地となった東日本と共に創っていくという思いを込め「共創」をテーマにした。セレモニーの最初に主催者を代表して大谷実行委員長より震災の犠牲者の方々へ黙祷が捧げられた。百人委員会結団式では原委員長から、また来賓を代表し松下経済産業副大臣、石田内閣府副大臣から挨拶を頂戴した。乾杯の発声を依田副委員長が務めた後、オフィシャルイベントを映像で紹介し、また今回のテーマとなった「共創」そして「こどもコ・フェスタ」の題字を執筆した少年書道家高橋氏と重延エグゼクティブプロデューサーによるオリジナルイベントの紹介を兼ねた対談が行われた。

■次第

●開会挨拶

大谷信義 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 実行委員長)

●百人委員会結団式

原 良也 (百人委員会 委員長 (株)大和証券グループ本社最高顧問)

●来賓挨拶

松下忠洋 (経済産業副大臣)
石田勝之 (内閣府副大臣)

●乾杯

依田 異 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)

●歓談交流

オフィシャルイベント、パートナーアイベント紹介映像

●オリジナルイベント紹介

重延 浩 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長
兼エグゼクティブプロデューサー)

高橋卓也 (書道家)

●中締め挨拶

松谷孝征 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)



オリジナルイベント こどもコ・フェスタ 映像制作・発表事業



哲也君



優香ちゃん



タイヨウ君



みずき君



たかと君



あおいちゃん

名 称：こどもコ・フェスタ 映像制作・発表事業

会 期：2011年11月11日(金)～2012年3月31日(土)

会 場：(映像発表) ウェブサイト、ソーシャルメディア及びテレビ、イベント会場

主 催：経済産業省／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／

JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

協 力：ソニー(株)／ATP(全日本テレビ番組製作社連盟)

■内容

コンテンツ産業に係る国内外市場拡大・新しい人材育成のため、将来のコンテンツ産業の担い手であり、未来のコンテンツの制作を担うクリエイター候補でもあるこども達と共に、東日本大震災と向き合う取り組み、「こどもコ・フェスタ」を実施。東日本大震災による被災地のこども達100人がそれぞれビデオカメラを使用し、『今、自分が最も伝えたいこと』をテーマに約3分間の映像を制作。それら100の作品をウェブサイト及びソーシャルメディア等を活用し、国内外へ発信した。

●発表媒体

【WEB】

- ・公式ホームページ <http://www.cofesta.jp/2011/kodomo/>
- ・YouTube <http://www.youtube.com/user/kodomocofesta>
- ・Facebook <http://www.facebook.com/KodomoCofesta>
- ・Twitter <https://twitter.com/#!/kodomoCoFesta>

【TV】

- ・NHK 2012年2月7日(火)～3月9日(金)に、100作品中24作品が東北ブロック及び首都圏ブロックにて放送。

【イベント会場】

- ・TIFF 第24回東京国際映画祭開催中TIFF CAFÉにて上映。
- ・ATP賞 第28回ATP賞グランプリ会場にて上映。
- ・こどもコ・フェスタin東北 こどもコ・フェスタin東北会場にて上映。

オリジナルイベント　こどもコ・フェスタ in 東北

名 称：こどもコ・フェスタin東北
 みてみたい、みつめたい ～すばらしい未来へのメッセージ～
 会 期：2012年3月24日(土)
 会 場：七ヶ浜国際村
 主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
 共 催：経済産業省
 後 援：青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県／仙台市／
 七ヶ浜町／青森県教育委員会／岩手県教育委員会／宮城県教育委員会／
 秋田県教育委員会／山形県教育委員会／福島県教育委員会／
 宮城県七ヶ浜町教育委員会
 協 力：(公財)岩手県文化振興事業団／(財)宮城県文化振興財団／
 (財)福島県文化振興事業団／(財)仙台市市民文化事業団／(株)BBI

■内容

アニメ制作やゲーム制作体験などのワークショップやアニメ上映、まんが原画展、詩の朗読、音楽ライブなど、コ・フェスタならではの多様性に富んだイベント。東日本大震災のおける被災地のこども達(小学4、5、6年生及び保護者約1,000人)を招待し、春休み期間中に開催。日本を代表する素晴らしいコンテンツと出会う機会を創出し、日本の優れたクリエイターが未来に向かって育っていくように、こども達と一緒に創造の楽しさ、素晴らしさを共感してもらう事を目的とした。

■プログラム

●オープニング

- ・進行ナビゲーター：ASIMO
- ・高橋卓也(少年書道家・岩手県在住)による開会宣言
- ・アニメ上映『セロ弾きのゴーシュ』(原作・宮沢賢治／監督・高畑勲)
- ・『セロ弾きのゴーシュ』挿入曲のチェロ演奏

●ワークショップ(参加者は下記いずれかのワークショップに参加)

- ①シルエットで描く似顔絵教室
講師：才田俊次(『セロ弾きのゴーシュ』原画作者)
- ②アニメ制作体験
講師：喜多見康(CG作家・文京学院大学大学院 経営学研究科教授)
- ③ゲーム制作体験
講師：阿部和弘(サイバー大学客員教授)
- ④デジタル絵本制作体験
講師：李里(ビジュアルプロデューサー、デジタル絵本作家)
- ⑤楽器演奏体験
講師：(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団

●まんが原画展

宮城県七ヶ浜を舞台にしたアニメ『かんなぎ』の原画を展示

●フィナーレ

- ・広末涼子による詩の朗読(気仙沼市 菊田心くんおよび宮沢賢治の作品)
- ・こどもコ・フェスタ紹介
(被災地の100人のこどもが制作した映像をガイドと共に上映)
- ・Metis、キマグレン、Rakeの3組による音楽ライブ



広報 年間スケジュール

■広報年間スケジュール概要

		内 容
4月		
5月		
6月	6日	第1回実行委員会
7月	4日	コ・フェスタ2011開催決定、パートナーイベント募集開始プレスリリース
8月	上旬	facebookにてコ・フェスタページオープン(各イベント情報の随时アップ開始～継続的に情報up&share)
	16日	第2回実行委員会
	中旬	コ・フェスタ2011ティザーサイトオープン
9月	上旬	ポスター、ガイドブック発行
	2日	グランドセレモニー取材案内
	13日	グランドセレモニー・百人委員会結団式開催、コ・フェスタ2011オフィシャルサイトオープン
	14日	グランドセレモニー・百人委員会結団式開催プレスリリース
10月	11日	広報支援 「東京国際アニメ祭 2011秋」開催プレスリリース
	13日	広報支援 「デジタルコンテンツEXPO 2011」開催プレスリリース
	20日	オリジナルイベント「こどもコ・フェスタ」映像制作事業プレスリリース
	21日	広報支援 「東京国際アニメ祭 2011秋」開催プレスリリース【再送】
11月		
12月		
1月		
2月	8日	オリジナルイベント「こどもコ・フェスタin東北」開催案内プレスリリース
	15日	オリジナルイベント「こどもコ・フェスタin東北」応募ページ(WEB)公開開始～応募締切(3/2)まで
3月	7日	第3回実行委員会
	14日	オリジナルイベント「こどもコ・フェスタin東北」取材案内プレスリリース
	24日	オリジナルイベント「こどもコ・フェスタin東北」開催&開催報告プレスリリース
	31日	オフィシャル報告書作成

広報 制作物

■紙媒体

●ポスター

数 量：1,500枚

仕 様：フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、
コンテンツ産業教育機関など



●オフィシャルガイド

数 量：45,000部(日本語版) 15,000部(英語版) 合計 60,000部

仕 様：蛇腹折り フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、
コンテンツ産業教育機関など



■映像

●公式映像記録 DVD

数 量：200枚

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体など



■Web

●コ・フェスタ 2011 オフィシャルウェブサイト

U R L : <http://www.cofesta.jp/>

言 語：日本語、英語

facebook : <http://www.facebook.com/CoFesta>

twitter : cofesta_2011



●こどもコ・フェスタ オフィシャルウェブサイト

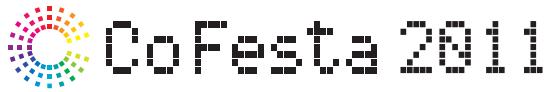
U R L : <http://www.facebook.com/CoFesta>

言 語：日本語・英語・中国語

facebook : <http://www.facebook.com/KodomoCofesta>

twitter : kodomoCoFesta





広報 メディア露出状況

期 間：2011年4月1日～2012年3月31日

件 数：下記表参照

		テレビ	ラジオ	新聞 (業界紙含む)	雑誌	WEB	計
国内	コ・フェスタ全体 ※	330	93	2,770	719	12,294	16,206
国外	コ・フェスタ全体 ※	115	6	83	156	13,540	13,900
	総 計	445	99	2,853	875	25,834	30,106

※ オフィシャルイベント、パートナーアイデア、オリジナルイベントを含む

[主な露出媒体]

テレビ	NHK「J-MELO」(国内・国際)「Biz スポ」「Japan 7 days」「首都圏ネットワーク」「ニュース7」「ニュースウォッチ9」「おはよう日本」「おはよう北海道」「Japan BIZ Cast」「とっておきサンデー」「第38回日本賞授賞式～輝け! 教育コンテンツ世界一～」「2011日本賞 presents 世界のとっておきテレビ」「ATP賞テレビグランプリ2011」、NTV「news every」「NEWS ZERO」「Oha!4」「ZIP」「スッキリ!」「ズームインサタデー」、TBS「サンデージャポン」「ひるおび」「Nスタ」「NEWS23クロス」「みのもんたの朝ズバツ!」、CX「FNNスピーチ」「FNNスーパーニュース」「めざにゅー」「めざましテレビ」「とくダネ!」「知りたがり」「新・週刊フジテレビ批評」、EX「ワイドスクランブル」「スーパーJチャンネル」「報道ステーション」「やじうまテレビ」「モーニングバード!」、TX「NEWSアンサー」「ワールドビジネスサテライト」「Mプラス9」、TVH「ウォッキング札幌」、毎日放送「昼のニュース」、朝日放送「ABCニュース」、日経CNBC「New Zone」、J-com「Hometownさっぽろ」、ケイ・キャット「ニュースK」、武蔵野三鷹CATV、ファッショントV、UTV、NTB、東京MXTV
ラジオ	J-WAVE「HOLIDAY SPECIAL AUTUMN NAVIGATION」「Park in the Sky」、TOKYO-FM「ブルーオーシャン」、ノースウェーブ「サッポロシティナビ」、STVラジオ「工藤準基の十人十色」、AIR-G「札幌ワンダー・ポロピン」、超! A&G+、むさしのFM、FM802、KBS京都、エフエム京都、ラジオ大阪
新聞 (業界紙含む)	時事通信、共同通信、文化通信、夕刊フジ(東京・大阪)、東京新聞(本紙・したまち版・多摩版・武蔵野版)、日本経済新聞(東京・札幌・名古屋・大阪・北九州)、サンケイスポーツ、道新スポーツ、スポーツ報知、日刊スポーツ、デイリースポーツ、スポーツニッポン、山形新聞、上毛新聞、神奈川新聞、静岡新聞、伊勢新聞、新潟日報、福井新聞、山陰中央新報、高知新聞、西日本新聞、佐賀新聞、愛媛新聞、信濃毎日新聞、京都新聞、北海道新聞、河北新報、函館新聞、沖縄タイムス、日刊工業新聞、電波新聞、映像新聞、SANKEI EXPRESS、吉祥寺ECCO、サンケイリビング、日刊レコード特信、ミュージック・リポート、織研新聞、織維ニュース、WWD FOR JAPAN、日経MJ、THE JAPAN TIMES、VAM企画、Daily Yomiuri、電波タイムズ、河北ウイークリー、デーリー東北、Variety、ScreenInternational、HollywoodReporter、ビデオ通信、商店建築
雑誌	キネマ旬報、アニメージュ、東京ウォーカー、Hotpepper、SENSE、ELLE JAPON、POPEYE、モーターマガジン、CanCam、Miss、poroco、HO、ビデオSALON、FDI、NEW MEDIA、B-maga、日経エレクトロニクス、日経ビジネス、週刊アスキー、Car&レジャー、ドライバー、映画秘宝、日本映画Magazine、コマーシャルフォト、視聴覚教育、ユニ通信、びあ秋、ファミ通Xbox360、週刊女性、せんだいタウン情報誌「S-style」、日経エンタテインメント!、日経ビジネス、週刊ダイヤモンド、ぴあ、TV Bros、モノマガジン、Goods Press、週刊ファミ通、電撃PlayStation、PC fan、スクリーン、TIMEOUT、Metropolis、IndieRocks!、月刊ブレーン、関西ウォーカー、サンデー毎日
WEB	<p>【国内】</p> <p>UstreamAsia ライブ中継、クリエイターズヘッズ、Real Tokyo、エンタメ～テレ、NHKオンライン、FNN-NEWS.COM、So-net 映画情報、EO 映画、アニメイトTV、あにげマ!、ネタリカ、アニメトリクス、教育家庭新聞、映像新聞、札幌経済新聞、仙台経済新聞、朝日新聞社、毎日新聞デジタル、日本経済新聞、時事ドットコム、毎日jp、ムービークリエイト、シネマプランナーズオンライン、東京ウォーカー、yahooニュース、niftyニュース、So-netニュース、livedoorニュース、Biglobe ニュース、@niftyビジネス、goo ニュース、Infoseek ニュース、Amebaニュース、MSN 産経ニュース、mixiニュース、ニコニコニュース、BBC ニュース、最新アニメ情報、COBS ONLINE、PRONEWS、InterBEEonline、ミニバラ、日刊サイゾー、47NEWS、Fashion Mag、VOGUE、エルオンライン、Fashionsnap.com、changefashion.net、ファッショントレス、Japaneses treets、FIL Sapporo、アニメ!アニメ!BIZ、syncmusic、JTB ホームページ、J Pubb、Travel vision、MBS ホームページ、Youtube、ニコ動、くまもんオフィシャルブログ、Web動画びっくり日本、日刊スポーツハリウッド直送便、ウォーカープラス、mu-mo記事、映画.com、シネマトゥディ、オリコン、中国情報局、Rafu新報、エキサイト、MSN デジタルライフ、Cybozu.net、ITmedia +D モバイル、Yahoo! ファインナス、シネマトゥディ、シネマカフェ、ぴあ映画生活、楽天woman、ファミ通.com、AFP BB ニュース、GREE、週刊アスキー、BBC ニュース、pixiv ニュース、マイコミジャーナル、ORICON STYLE、河北ブックサイト、OCN game、4Gamer.net、asahi.com、ASCII.jp、BIGLOBE ニュース、RBB Today、CNET Japan、So-net ニュース、TSUTAYA online、GAME Watch、GameBusiness.jp、Yahoo! ニュース、Gigazine、goo ゲーム、Gpara.com、iNSIDE、Itmedia ガジェット、Kotaku JAPAN、A42livedoor ニュース、media jam、nikkei BPnet、MSN エンタメ、イベントガイド、eiga.com、cinematoday、アニメ!アニメ!、CGワールド、キャラBiz、地球の歩き方、Creators heads、IDGA、東京キャラクターフォーラム、Jストリーム、いつとじゅっけん、PRタイムス、みんなの経済新聞</p> <p>【海外】</p> <p>Asia Pacific Arts、Asahi Japan Watch、Cinefamily、Consulate-General of Japan in Los Angeles、Internet Movie Database、J-Film Pow-Wow、Kyodo、Los Angeles Times、Maboroshi Productions、PR Newswire、Reuters、SF Crows Nest、Subway Cinema、Tokyo Hive、Twitch、NikkeiTech ON</p>

一体感の創出 オフィシャルイベント連携

いくつかのオフィシャルイベントにおいて、コ・フェスタの趣旨に即した複数のイベントを同会場で同時期に開催することによりコンテンツ業界の交流が生まれた。また、コ・フェスタに参加するイベントの統一感を創出するために各イベントのオープニングセレモニー等でJAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会正副委員長の挨拶が行われた。

■オフィシャルイベントにおけるコンテンツ業界交流創出

●第24回東京国際映画祭×第8回文化庁映画週間

内 容：世界中の映画関係者が集う第24回東京国際映画祭と日本映画の振興を目的とした第8回文化庁映画週間の来場者、業界関係者の交流を図り同じ六本木ヒルズ内の会場で同時期に開催。

会期・場所：10月22日(土)～30日(日) 六本木ヒルズ(第24回東京国際映画祭)
10月22日(土)～29日(土) 六本木ヒルズ(第8回文化庁映画週間)



●TIFFCOM2011×第24回東京国際映画祭

内 容：国際的なコンテンツマーケットTIFFCOM2011と第24回東京国際映画祭の来場者、業界関係者の交流を図り、同じ六本木ヒルズ内の会場で同時期に開催。

会期・場所：10月22日(土)～30日(日) 六本木ヒルズ(第24回東京国際映画祭)
10月24日(月)～26日(水) 六本木ヒルズ(TIFFCOM2011)



●国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011×TIFFCOM2011

内 容：日本の優れたドラマを世界各国に向け発信する国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011とTIFFCOM2011が連携し、全てのイベント会場を六本木ヒルズに移し開催。

会期・場所：10月24日(月)～25日(火) 六本木ヒルズ
(国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011)
10月24日(月)～26日(水) 六本木ヒルズ(TIFFCOM2011)



●TIFFCOM2011×Creative Market Tokyo 2011

内 容：「TIFFCOM&CMTコラボ・プログラム New Talent企画ピッチ＆サポート」としてTIFFCOM企画マーケットの映画制作業者やCMT2011出展クリエイターが来場者に向けプレゼンテーション(ピッチ)を行い、審査員によって選考された優秀者にはパイロット版動画制作費など企画開発費の支援が行われた。

会期・場所：10月25日(火) 六本木ヒルズ





一体感の創出 公式行事等への実行委員会正副委員長の出席

● 東京ゲームショウ2011 オープニングセレモニー

9月15日(木) 9:30～ 幕張メッセ
コ・フェスタ側出席者：重延EP兼副委員長
主催者側出席者：
和田 洋一 (社)コンピュータエンターテインメント協会会长
長田 公平 (株)日経BP社代表取締役社長
今林 顯一 経済産業省IT戦略担当大臣官房審議官

● DCEXPO2011 オープニングセレモニー

10月20日(木) 10:30～ 日本科学未来館1Fシンボルゾーン
コ・フェスタ側出席者：大谷委員長
主催者側出席者：
牧野 聖修 経済産業副大臣
毛利 衛 日本科学未来館館長
西田 厚聰 (財)デジタルコンテンツ協会会长
館 瞳 DCEXPO運営委員長
川口洋一郎 アジアグラフ実行委員長
河合 隆史 国際3Dフェア
稻見 昌彦 次世代コンテンツ技術展実行委員長

● 第7回文化映画週間 平成22年度文化庁映画賞贈呈式

10月22日(土) 18:00～ 六本木ヒルズ グランドハイアット東京2階「コリアンダー」
コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長
主催者側出席者：
近藤 誠一 文化庁長官
依田 翼 第24回東京国際映画祭チアマン

● 第24回東京国際映画祭 オープニングセレモニー

10月22日(土) 20:00～ 六本木ヒルズ
コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長、迫本副委員長、
松谷副委員長、重延EP兼副委員長
主催者側出席者：
依田 翼 チアマン
高井 英幸 理事長 他

● Creative Market Tokyo 2011 表彰式&交流会

10月27日(木) 19:00～ 六本木ヒルズ
コ・フェスタ側出席者：石川実行本部長
主催者側出席者：
照井 恵光 経済産業省関東経済産業局長
伊吹 英明 経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長
品田 英雄 日経BP社『日経エンタテインメント!』編集委員

● 東京国際アニメ祭秋2011 オープニングセレモニー

10月27日(木) 11:00～ UDX 2階
コ・フェスタ側出席者：石川実行本部長
主催者側出席者：
伊吹 英明 経済産業省商務情報政策局
メディア・コンテンツ課課長
布川 郁司 一般社団法人日本動画協会会長
横山 英樹 東京都産業労働局観光部長
南沢 道義 一般社団法人日本音声製作者連盟理事長
浜野 京 (独)日本貿易振興機構海外市場開拓部部長
鈴木 仁 東京国際アニメ祭2010秋副実行委員長
一般社団法人日本動画協会副理事長

● 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011 懇親パーティー

10月24日(月) 18:30～ 六本木ヒルズ49F
コ・フェスタ側出席者：依田副委員長
主催者側出席者：
広瀬 道貞 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011
実行委員会委員長
重村 一 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2011
実行委員会副委員長兼EP

● 「日本－香港 共同製作支援スキーム」&レセプション「香港シネマ@TIFF」レセプション(第24回東京国際映画祭連携イベント)

10月24日(月) 17:00～19:00 グランドハイアット東京
コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長
主催者側出席者：
ジャック・ソー 香港貿易発展局会長
依田 翼 第24回東京国際映画祭チアマン

● 第27回ATP賞テレビグランプリ2011 授賞式

10月20日(木) 16:00～ 六本木ハイウッドホール
コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長
主催者側出席者：
松崎 公昭 総務副大臣
松本 正之 日本放送協会会長
広瀬 道貞 日本民間放送連盟会長
中尾 幸男 ATP理事長

● KYOTO CMEX2011 レセプション

11月1日(火) 18:00～ 知恩院 和順会館 和順ホール
コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長
主催者側出席者：
山田 啓二 京都府知事
門川 大作 京都市長
立石 義雄 京都商工会議所会頭
齋藤 茂 KYOTO CMEX実行委員長

コ・フェスタ (JAPAN 国際コンテンツフェスティバル) 2011 実施報告書

発行日：2012年3月

発 行：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

デザイン監修：(株)サムライ

Printed in JAPAN

© VIPO

住 所：東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F

NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) 内

電 話：03-3543-7321

F A X：03-3543-7322

U R L：<http://www.cofesta.jp/>

Eメール：info@cofesta.jp

